PATLITE®

Interface Converter

PHNシリーズ

Ethernet／デジタルI/O変換器

PHN-D88

取扱説明書

Rev.1.10

※この取扱説明書は本製品ファームウェアVer1.10に対応しています。

株式会社パトライト

PATLITE Corporation

安全にご使用いただくために

本書においてはPHN-D88シリーズを安全にご使用いただくために、注意事項のランクを「危険」、「警告」、「注意」の３段階に分けて、下記のような教示を図記号で表しています。以下に記したマークを伴っている注意事項は、安全に関する重大な内容について述べていますので、熟読した上で正しくご使用ください。

危険	危険：DANGER	取り扱いを誤った場合、死亡または重症を招く差し迫った危険な状況が想定される内容を示します。
警告	警告：WARNING	取り扱いを誤った場合、死亡または重症を招く可能性がある危険な状況が想定される内容を示します。
注意	注意：CAUTION	取り扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を招く可能性のある状況、 及び物理的損害の発生が予測される危険な状況を示します。

設計上の注意	警告	●人命や機器の破損のかかわるところや、緊急用の通信部に使用しないでください。 また本製品の誤動作に対応できるシステム設計を行ってください。 ●アース線を必ず接続してください。（本体底面及び側面のねじ部をご利用ください。） アース線はガス管、水道管、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電・発火の原因となる場合があります。
	注意	●各通信ケーブルは、動力線と一緒に束ねたり、近接した配線にしないで下さい。ノイズによる通信エラーの原因となります。 ●原子力関連及び、公共重要設備へのご使用につきましては、弊社営業へご相談ください。
取り付け上の注意	注意	●本製品は本書記載の一般仕様の環境で使用してください。 ●一般仕様以外の環境で使用すると、火災、誤動作、製品の破損、あるいは劣化の原因になります。 ●下記のような場所に使用しないでください。故障、火災の原因になります。 ・腐食性ガス、可燃性ガス、溶剤、研削液、切削油等に直接触れる場所 ・高温、結露、風雨にさらされる場所 ・振動、塩分、鉄分が多い場所 ・振動、衝撃が直接加わるような場所 ●機器への導入に際して、本製品の端子に容易に触れないように、正しく取り付けてください。
配線上の注意	危険	●本製品の取り付け、ケーブル配線時には、必ず電源を切って行ってください。感電や破損の恐れがあります。
	注意	●本製品への配線は定格電圧、定格電流を考慮して正しく端子に接続してください。 定格外の電源を供給したり、誤配線した場合は製品の破損、故障、火災の原因になります。 ●本製品内に導電性異物が付着、または入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
保守・運転中の注意	危険	●通電中は絶対に端子に触れないでください。 感電の恐れがあります。
	注意	●本製品の修理、分解、改造を㈱パトライト以外、もしくは㈱パトライト指定以外の第三者が行った場合、それが原因で生じた損害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

ご 注 意

●本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。

●本書に記載された内容は予告無く変更する場合があります。

●本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、販売店へご連絡ください。

●本製品の運用を理由とする、損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

●本書に記載される会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

1 概要

1.1 はじめに

このたびは、(株) パトライト Interface Converter をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品はイーサネット接続された機器からの指令により、デジタル入出力（入力：８点／出力：８点）の制御を行う機器です。

ご使用に関しては、本書の内容をご理解された上で、正しくご使用されるよう、お願い申し上げます。

1.2 梱包内容

①本体

②AC アダプタ

③ゴム足　４コ

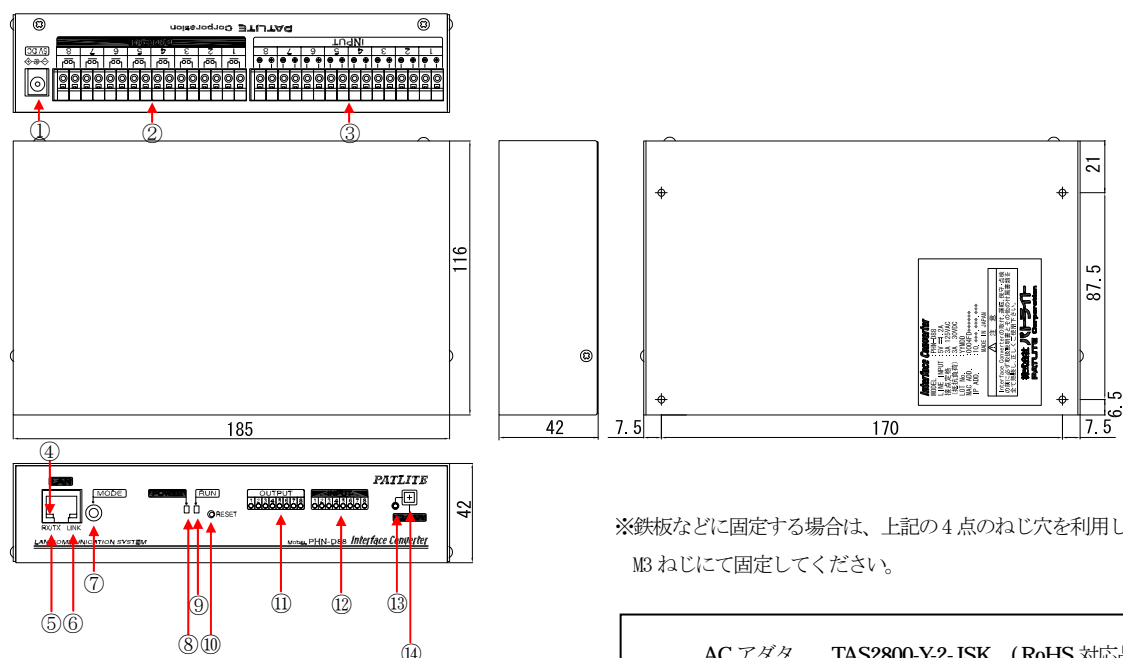
④簡単セットアップマニュアル

⑤FAX お客様登録用紙

1.3 寸法と各部の名称及び機能

外観図　単位［mm］

42　7.5　170　7.5　21　87.5　6.5

※鉄板などに固定する場合は、上記の４点のねじ穴を利用し、M3 ねじにて固定してください。

① 電源コネクタ

② 出力端子台（8 点）

③ 入力端子台（8 点）

④ Ethernet インタフェース

⑤ データ表示 LED

⑥ リンク表示 LED

⑦ モード切替スイッチ

⑧ 電源表示 LED

⑨ ステータス表示 LED

⑩ リセットスイッチ

⑪ 出力表示 LED

⑫ 入力表示 LED

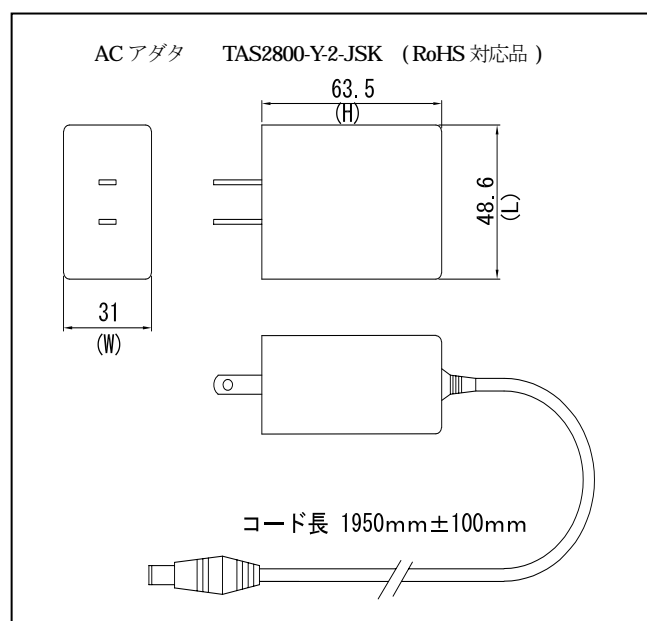
⑬ クリアスイッチ表示 LED

⑭ クリアスイッチ

AC アダタ　TAS2800-Y-2-JSK （RoHS 対応品）

63.5 (H)　48.6 (L)　31 (W)

コード長 1950mm±100mm

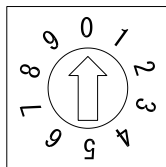
※　ACアダプタは、予告なく変更する場合があります。

（注）取り付け上の注意　：　本体を必ずアース（第３種接地）へ接続してください。（本体底面もしくは側面のねじ部をご利用ください。）

1.4 本製品で出来ること

・デジタル入出力（入力：８点／出力：８点）の制御監視（SNMP／RSH／TCP／UDP）
・各種イベントトリガでのトラップ通知
・各種イベントトリガでのメール通知
・各種イベントトリガでのデジタル出力
・各種イベントトリガでの RSH コマンド送信
・RSH コマンド受信機能
・ユニット監視機能（ping）

2 機能

2.1 モード切替スイッチ

本器のモードを切り替えます。

0:　運転モード
1～6: 動作しません
7:　パラメータ設定初期化モード
8:　UP-DATE モード
9:　動作しません
※モード切り替え後リセットをかけることにより、切り替え設定が有効となります。
※UP－DATE モードは、ファームウェア書換え時に使用します。

2.2 ステータス表示 LED

本製品の動作状態をステータス表示 LED で表示します。

2.2.1　運転モード時

動作	ステータス表示 LED
電源投入時	消灯
TCP セッション確立時	点灯（緑色）
TCP セッション破棄時	消灯
初期化チェックエラー発生時	点滅（緑色）0.1 秒周期

2.2.2　パラメータ設定初期化モード時

動作	ステータス表示 LED
電源投入時	点滅（緑色）0.5 秒周期
初期化チェックエラー発生時	点滅（緑色）0.1 秒周期
パラメータ初期化完了時	点灯

2.2.3　UP－DATE モード時

動作	ステータス表示 LED
電源投入時	点灯（緑色）
初期化チェックエラー発生時	点滅（緑色）0.1 秒周期
ファーム書き込みエラー発生時	点滅（緑色）1 秒周期

2.3 電源表示 LED

本製品の電源が入っている時に、緑色で点灯します。

2.4 リセットスイッチ

本製品をリセットします。

2.5 クリアスイッチ

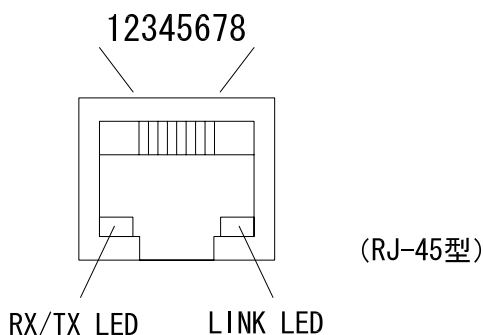
接点出力の全ビット強制 OFF を行います。（強制ＯＦＦ時の状態は、各ビットの論理設定に依存します。）

2.6 Ethernet インタフェース

2.6.1　仕様

項目	内容
ビットレート	10Mbps/100Mbps 自動切換え　(100Mbps 優先)
プロトコル	CSMA／CD　(IEEE 802.3)
伝送媒体	10BASE-T、100BASE-TX
トポロジ	スター
	全二重／半二重　(全二重優先)

レイヤ	プロトコル	説明
物理レイヤ	10BASE-T 100BASE-TX	IEEE802.3
データリンクレイヤ	CSMA/CD	IEEE802.3 搬送波感知多重アクセス／衝突検出方式 対象フレーム：イーサフレーム
ネットワークレイヤ	IP ICMP ARP	TCP/IP プロトコルにおける 標準的なネットワークレイヤのプロトコル
トランスポートレイヤ	TCP UDP	TCP/IP プロトコルにおける 標準的なトランスポートレイヤのプロトコル
アプリケーションレイヤ	ソケット FTP telnet http	ソケットスループロトコル 標準的なアプリケーションレイヤのプロトコル

2.6.2　コネクタ

2.6.3　ピンアサイン

ピン番号	信号名	名称
1	TXD＋	送信データ（＋）
2	TXD－	送信データ（－）
3	RXD+	受信データ（＋）
4	－	未使用
5	－	未使用
6	RXD－	受信データ（－）
7	－	未使用
8	－	未使用

2.6.4　推奨ケーブル

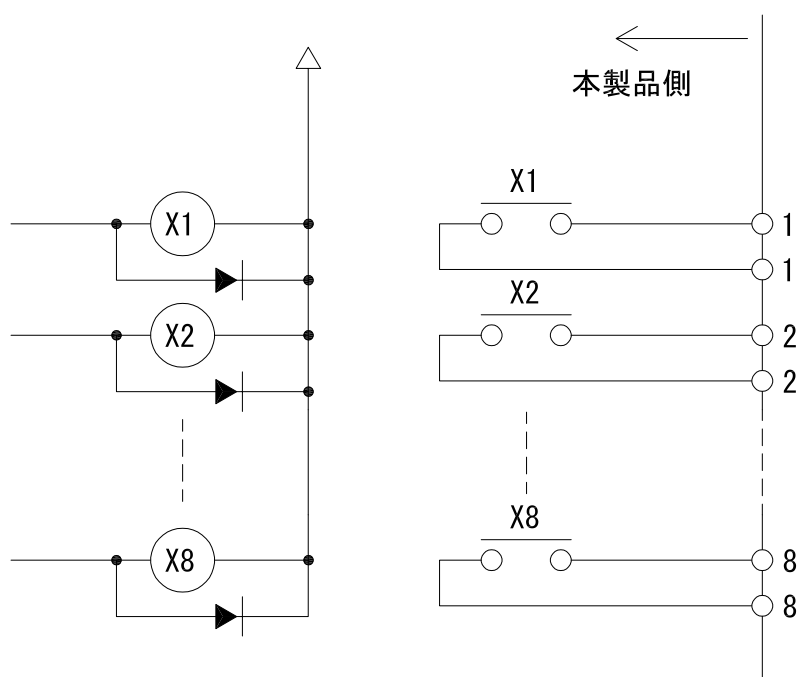
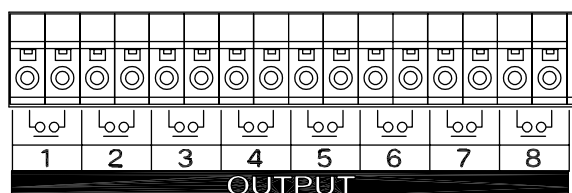
カテゴリ５対応ツイストペアケーブル（UTP または STP）

パソコンから本製品に直接接続（1：1）する場合はクロスケーブル、HUB を介して接続する場合はストレートケーブルが必要です。

2.7 出力部インタフェース

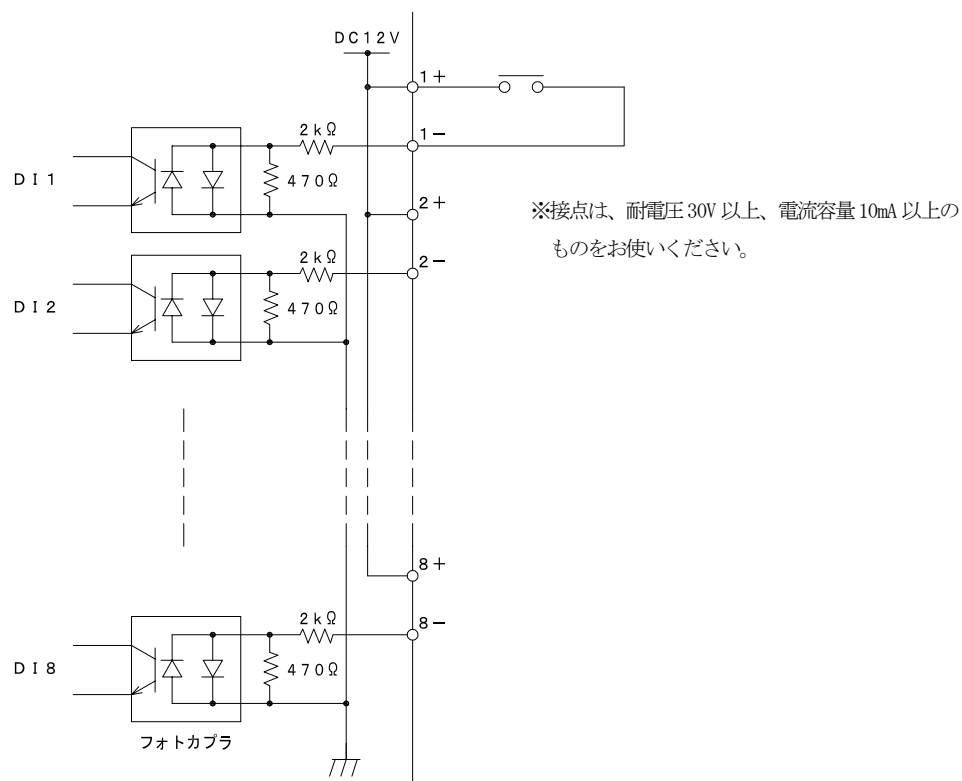
2.7.1　仕様

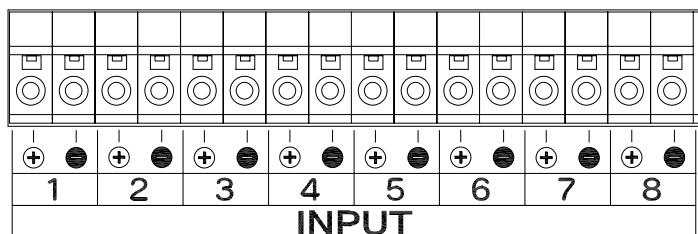
項目	内容
出力形式	リレー接点出力
出力点数	8 点
定格負荷	最大：AC 125V 3A、DC30V 3A 最小：DC5V 10mA (抵抗負荷)
使用可能電線	単線　　φ1.3～2.0mm　（ AWG#12～#16 ） より線　0.33～2.08mm²　（ AWG#14～#22 ）
電線被覆剥きしろ	9～10mm

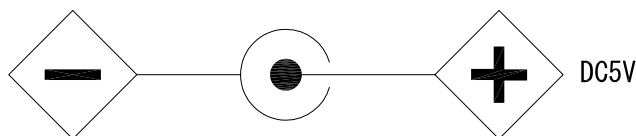
2.7.2　出力部回路図

2.7.3　端子台

2.8 入力部インタフェース

2.8.1 仕様

項目	内容
入力形式	フォトカプラ入力（内蔵 12V 使用)、短絡時電流：5mA
出力点数	8 点
使用可能電線	単線　　φ1.3～2.0mm　（ AWG#12～#16 ） より線　0.33～2.08mm²　（ AWG#14～#22 ）
電線被覆剥きしろ	9～10mm

2.8.2 入力部回路図

※内蔵 DC12V 電源は、内部電源と非絶縁です。

2.8.3 端子台

2.9 電源コネクタ

本製品専用の付属 AC アダプタをご使用ください。付属 AC アダプタ以外のものをご使用になりますと、本製品もしくは接続された他の機器が破損する恐れがあります。

3 動作モード

3.1 運転モード

3.1.1　運用

モード切替スイッチを 0 に合わせ、本製品を起動（再起動）します

3.1.2　概要

デジタル入力機能

デジタル入力信号を取り込むことができます。
- ・SNMP エージェントへアクセスすることにより、デジタル入力の状態を参照することができます。
- ・DIO サーバーへアクセスすることにより、デジタル入力の状態を参照することができます。
- ・遠隔コマンドにて、デジタル入力の状態を参照することができます。
- ・設定により、デジタル出力、トラップ送信、メール送信、遠隔コマンド送信を行います。

デジタル出力機能

デジタル出力部に信号を出力します。
- ・SNMP エージェントへアクセスすることにより、デジタル出力の操作を行うことができます。
- ・DIO サーバーへアクセスすることにより、デジタル出力の操作を行うことができます。
- ・遠隔コマンドにて、デジタル出力の操作を行うことができます。
- ・デジタル入力設定により、デジタル出力を行います。
- ・設定により、認証エラー発生時にデジタル出力を行います。

トラップ送信機能

設定されている送信先へトラップ送信を行います。
- ・デジタル入力設定により、トラップ送信を行います。
- ・設定により、認証エラー発生/クリアスイッチ押下時にトラップ送信を行います。

メール送信機能

設定されている送信先へメール送信を行います。
- ・デジタル入力設定により、メール送信を行います。
- ・設定により、認証エラー発生/クリアスイッチ押下時にメール送信を行います。

遠隔コマンド送信機能

設定されている送信先へ遠隔コマンド送信を行います。（リモートシェルクライアント機能）
- ・デジタル入力設定により、遠隔コマンド送信を行います。
- ・設定により、認証エラー発生/クリアスイッチ押下時に遠隔コマンド送信を行います。

遠隔コマンド受信機能

遠隔コマンドを受信し（リモートシェルサーバー機能）、コマンドに応じたデジタル出力を
行います。

ユニット監視機能

設定されている監視先のネットワーク機器の死活監視（PING 応答要求）を行います。
- ・設定により、異常検出時にトラップ送信を行います。
- ・設定により、異常検出時にメール送信を行います。
- ・設定により、異常検出時にデジタル出力を行います。
- ・設定により、異常検出時に遠隔コマンド送信を行います。

DIO サーバー機能

専用プロトコル（TCP／UDP）にて、デジタル入力部の監視及び、デジタル出力部の操作を行います。

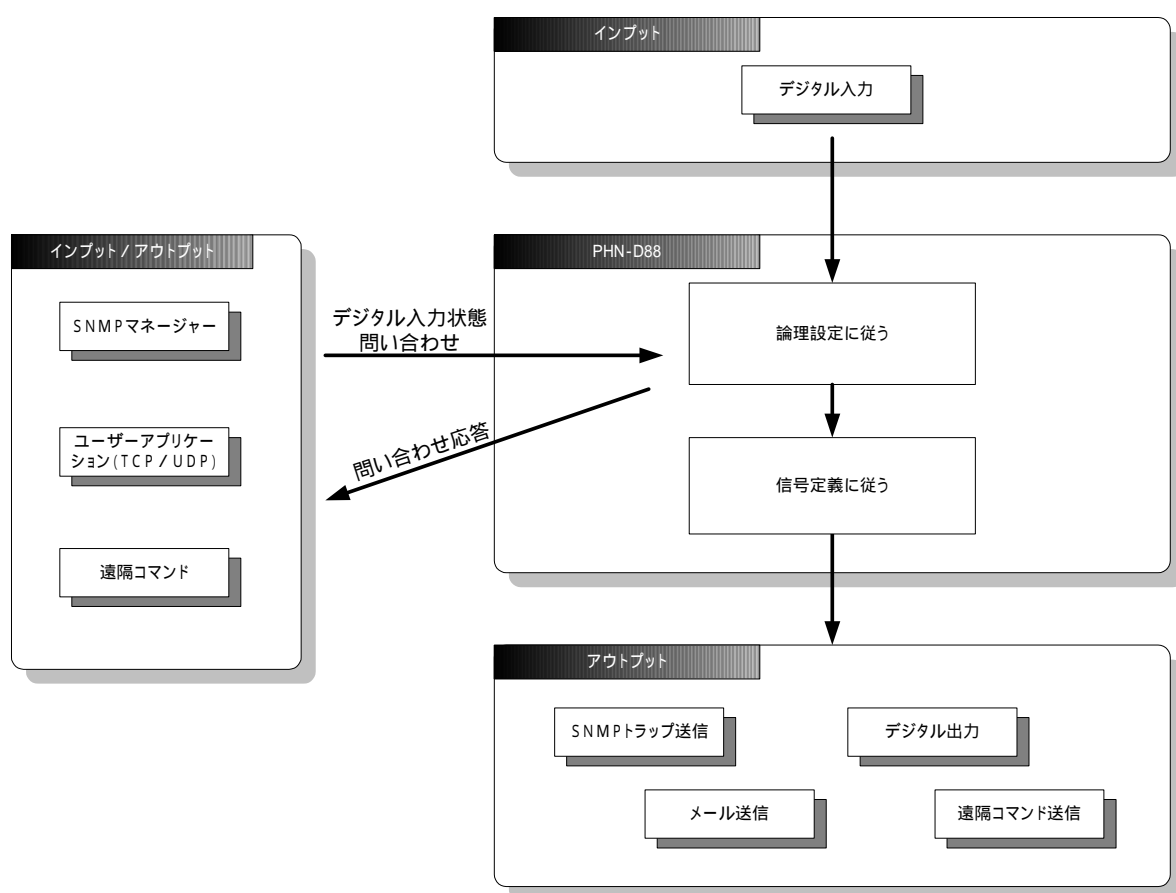
ファームウェア書換機能

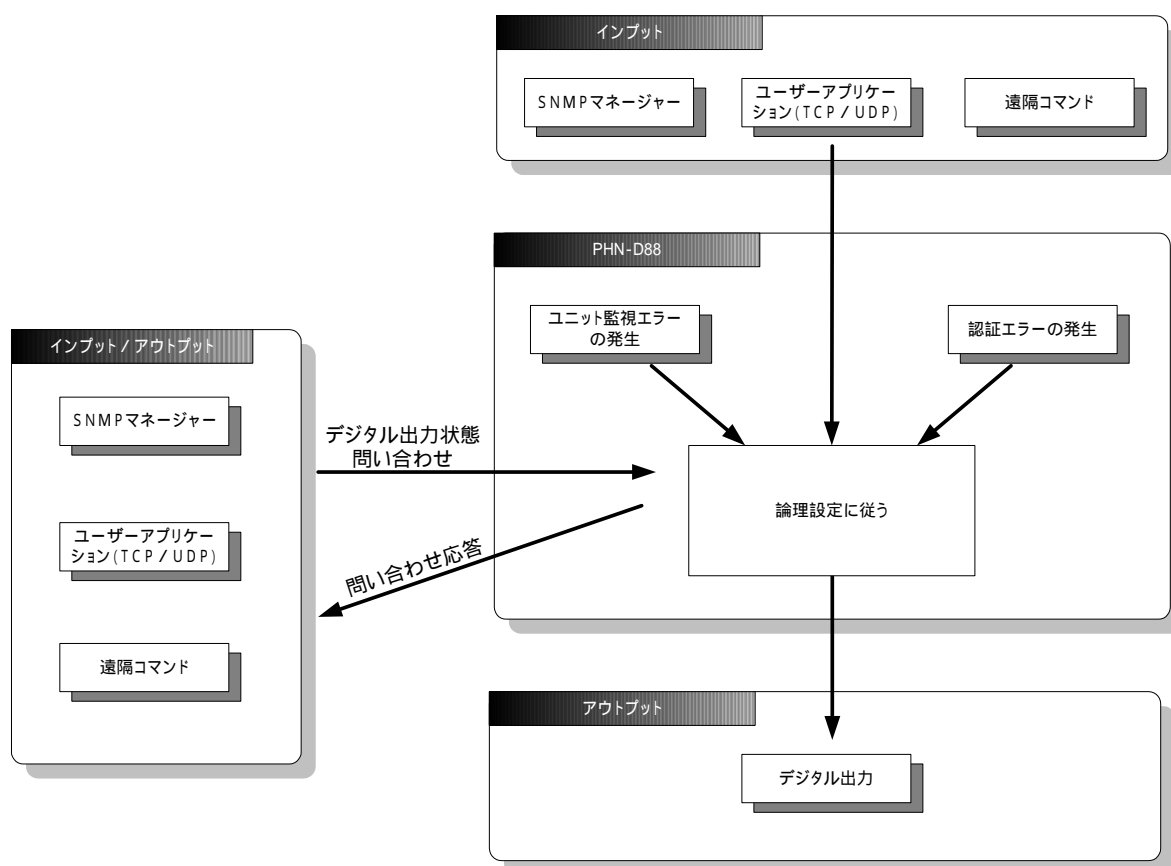
FTP にてファームウェアの転送を行い、書き換えを行います。

3.1.3　デジタル入力機能

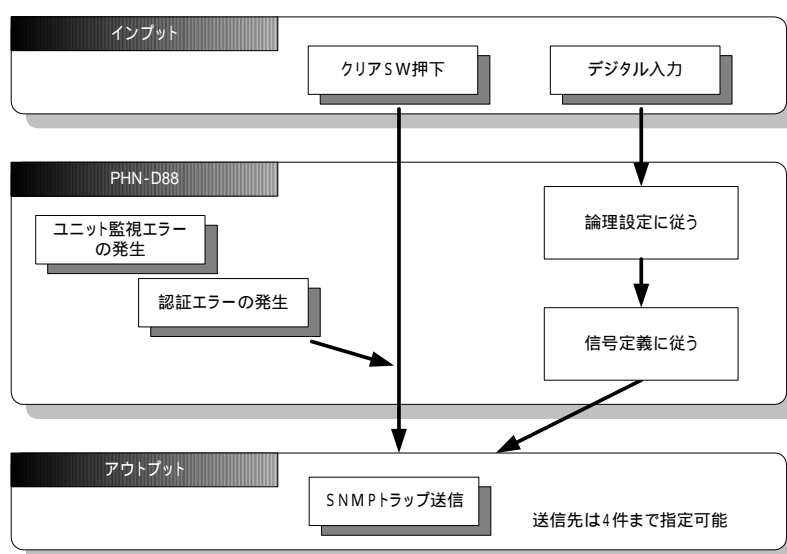
入力１～８に対して各々論理設定（A接点/B接点)、及び信号定義（信号を取り込むタイミング）を行います。

信号定義で設定された状態変化が発生した場合、設定に従い各アウトプットを行います。

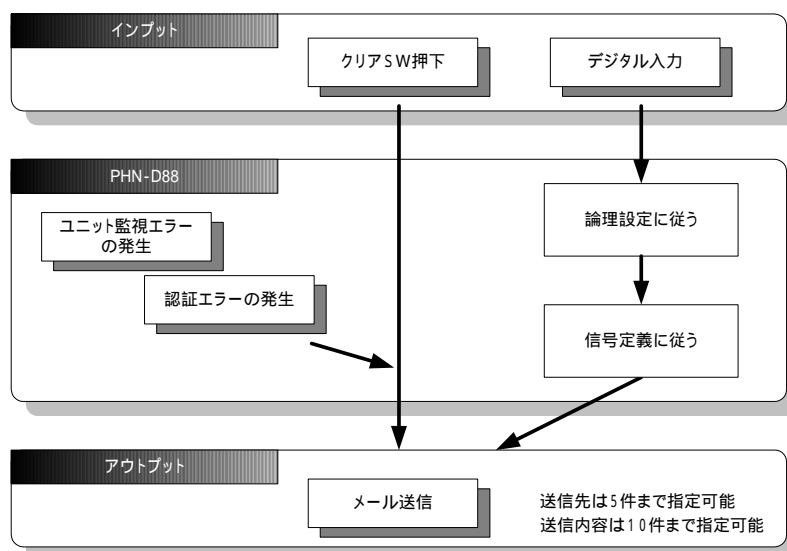
デジタル入力の状態変化を通知するためのポーリング間隔は、50ms 単位で指定できます。（入力１～８共通)

3.1.4　デジタル出力機能

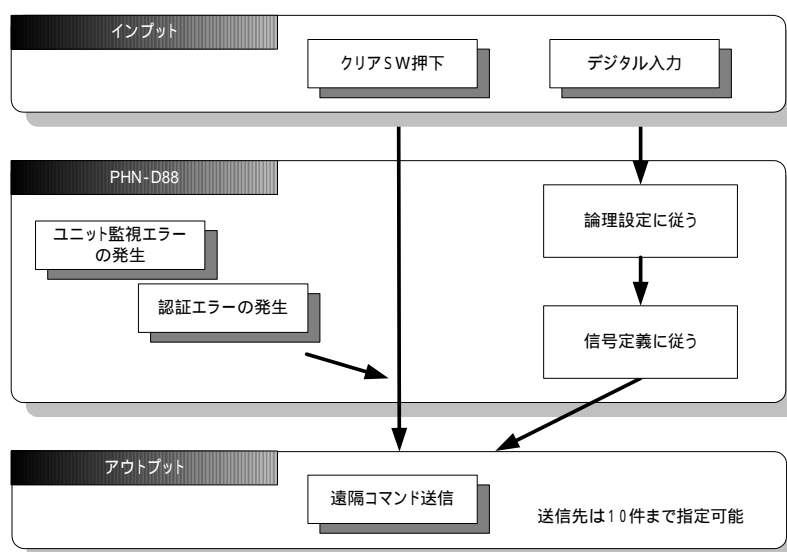
出力１～８に対して各々論理設定（A接点/B接点）を行います。

各インプットにより、設定に従いデジタル出力を行います。

3.1.5　トラップ送信機能

各インプットにより、設定に従いトラップ送信を行います。

・送信されるトラップコードについては、「4.3.3 SNMP トラップ定義一覧」を参照してください。

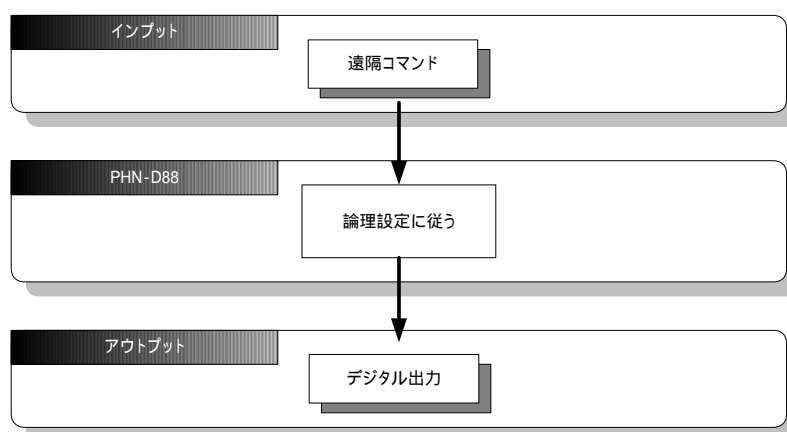
3.1.6　メール送信機能

各インプットにより、設定に従いメール送信を行います。

3.1.7　遠隔コマンド送信機能

各インプットにより、設定に従い遠隔コマンド送信を行います。

・遠隔コマンド実行時のタイムアウト
　遠隔コマンドを実行するホストからの応答待ち時間は10秒です。（固定）
　タイムアウト時はセッションを打ち切ります。

・構文は以下の様になります。
　rsh　IPアドレス［-l ユーザーネーム］　コマンド　パラメータ
　※ユーザーネーム、コマンド、パラメータ部は全て半角英数文字。ユーザーネームは無視しますので、指定しても、しなくてもかまいません。
　コマンド及びパラメータの詳細は、P15、P16を参照してください

3.1.8　遠隔コマンド受信機能

各インプットにより、設定に従いデジタル出力を行います。

・遠隔コマンド受信ポートは514番固定です。

・構文は以下の様になります。

rsh　IPアドレス［-l ユーザーネーム］　コマンド　パラメータ

※ユーザーネーム、コマンド、パラメータ部は全て半角英数文字。ユーザーネームは無視しますので、指定しても、しなくてもかまいません。

・サポートコマンドは以下の様になります。

［alert］：出力信号の制御

構文　alert ？？？？？？？？ ##

説明　出力信号の状態を変化させます。

パラメータ部？？？？？？？？の指示には下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF

1：出力信号 ON

2：出力信号 1秒毎にON／OFFを繰り返す

9：変化なし

パラメータ##部の指示には下記の値が入ります。

パラメータなし、もしくは、0：制限時間なし

1～99：制限時間を秒単位で指定

制限時間を指定したalertコマンドを発行した場合は、そのコマンドを発行した時点の出力状態を退避したあとで、パラメータ？？？？？？？？部で指定した制御状態を制限時間だけ出力します。

制限時間が経過すると、退避しておいた出力状態を再度出力し、コマンドの処理を終了します。この時制限時間を経過する前に、新たに制限時間を指定したalertコマンドを発行した場合、その制限時間を経過した後の出力状態は、最初に制限時間を指定したalertコマンドを発行したときに退避しておいた出力状態に戻ります。

また、制限時間を経過する前に、制限時間の指定がない alert コマンド、あるいは、clear、testコマンドを発行した場合は、新たに発行されたコマンドの処理を実行し、退避した出力状態は、破棄します。

制限時間中に、rsh コマンド以外の方法で出力状態を変更することは可能ですが、制限時間を経過した時点で、出力状態は、制限時間を指定したalertコマンド発行時に退避しておいた状態に戻ります。

応答　コマンド実行後の指示値を標準出力に返します。 ⇒ ？？？？？？？？　##
応答部？？？？？？？？には下記の値が入ります。
0：出力信号 OFF
1：出力信号 ON
2：出力信号　１秒毎に ON／OFF を繰り返す
9：変化なし
応答部##には下記の値が入ります。
パラメータなし、もしくは、0：制限時間なし
1～99：制限時間

※ パラメータ部及び応答部の？？？？？？？？は先頭より出力１、出力２・・・出力８の各信号の順です。

[status]：出力信号の状態取得
構文　status
説明　現在の出力状態を標準出力に返します。
パラメータ無し
応答　現在の出力状態を標準出力に返します。⇒ ？？？？？？？？
応答部？？？？？？？？には下記の値が入ります。
0：出力信号 OFF
1：出力信号 ON
2：点滅
※ 応答部の？？？？？？？？は先頭より出力１、出力２・・・出力８の各信号の順です。

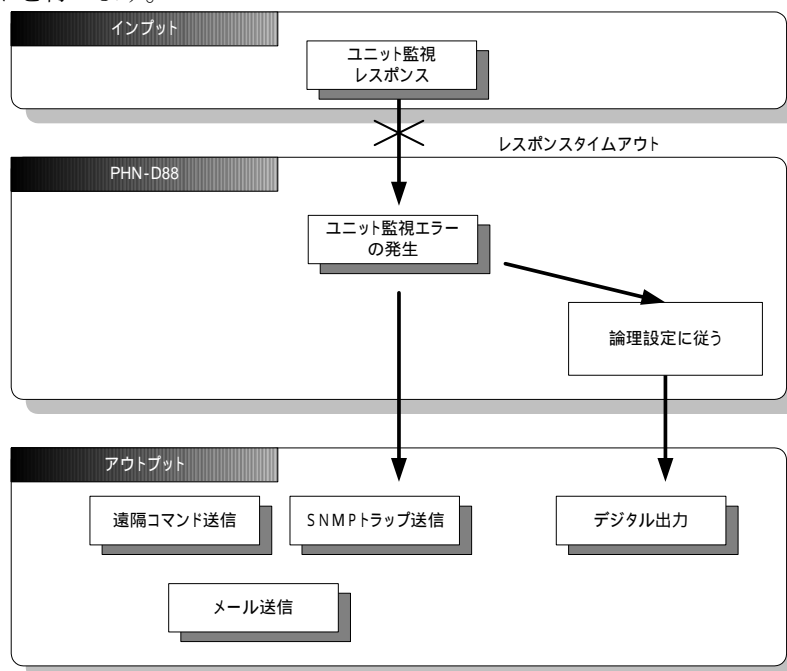
[read]：入力信号の状態取得
構文　read
説明　現在の入力状態を標準出力に返します。
パラメータ無し
応答　現在の入力状態を標準出力に返します。⇒ ？？？？？？？？
応答部？？？？？？？？には下記の値が入ります。
0：入力信号 OFF
1：入力信号 ON
※ 応答部の？？？？？？？？は先頭より入力１、入力２・・・入力８の各信号の順です

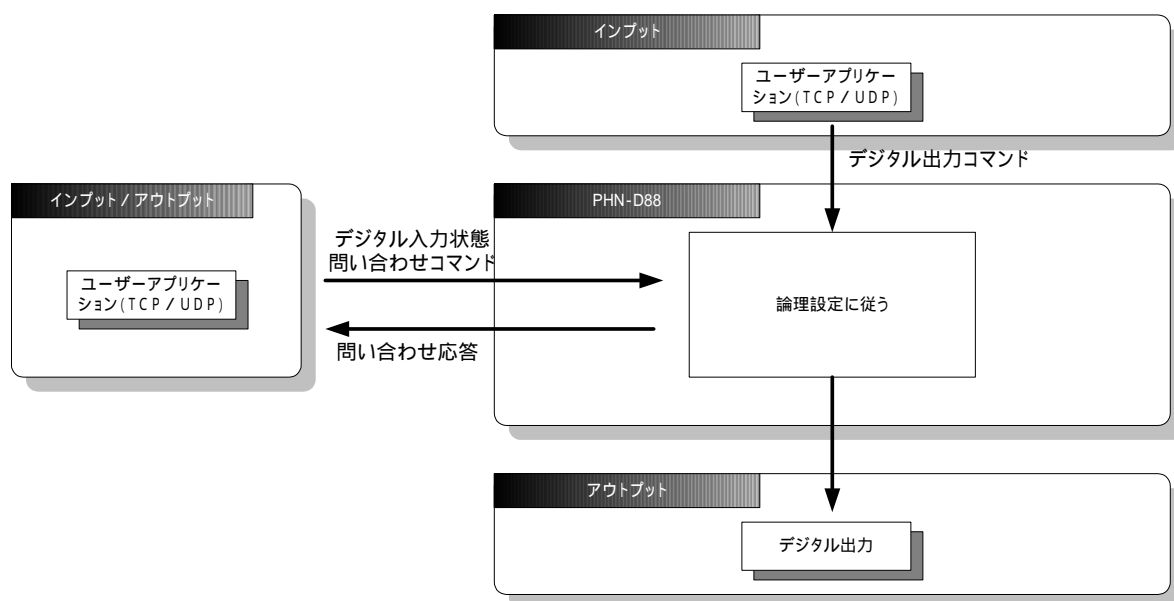
以下のコマンドについては、テスト用のため通常のコントロールに使用しないでください

[clear]：出力信号のクリア
構文　clear
説明　出力信号全てをクリアします。
応答　００００００００
応答には全て下記の値が入ります。
0：出力信号 OFF

[test]：出力信号のテスト
構文　test
説明　出力信号全てをクリアしてから、出力信号1～8 を順に ON させます。⇒ 全て ON
クリアスイッチ押下もしくは、遠隔コマンド（clear）を実行するまで保持します。
応答　１００００００００→１１００００００→　→　→１１１１１１１１

3.1.9　ユニット監視機能

同一ネットワーク上に設置されるネットワーク機器を監視（PING応答要求）します。
最大１０台までの同時監視が行えます。
設定したネットワーク機器からのレスポンスがタイムアウト時間途絶えた場合、設定に従い各アウトプットを行います。

3.1.10 DIO サーバー機能

ＴＣＰ／ＵＤＰプロトコルで作成したアプリケーションより、デジタル入出力の操作が行えます。

通信プロトコル（TCP/UDP 共通）

［出力要求コマンド（W)］　本ユニットのデジタル出力操作を行います。

’W’ (0x57)	出力データ (1byte bin)

出力データ指定例

出力１，４，６　　出力：0010　1001(ビット配置) → 0x29(出力データ)
全８点　　　　　　出力：1111　1111(ビット配置) → 0xff(出力データ)

ユニットからの応答（正常時応答)

’A’ (0x41)	’C’ (0x43)	’K’ (0x4B)

ユニットからの応答（異常時応答)

’N’ (0x4E)	’A’ (0x41)	’K’ (0x4B)

［入出力状態要求コマンド応答（R)］　本ユニットのデジタル入出力状態の取得を要求します。

’R’ (0x52)

ユニットからの応答（正常時応答)

’R’ (0x52)	入力状態 (BIN)	出力状態 (BIN)

ユニットからの応答（異常時応答)

’N’ (0x4E)	’A’ (0x41)	’K’ (0x4B)

強制切替機能について

※強制切替機能は TCP プロトコル選択時の時のみ機能します。

本器の DIO サーバーは常にクライアントと１：１のセッションを保ちます。
従って既にセッションが確立している場合は、セッションが閉じられるまで、接続要求が受け入れられません。
強制切替機能を’有り’に設定し、セッション確立後別の接続要求を受け取った場合、既存のセッションを閉じ、後者とのセッションに切り替えます。

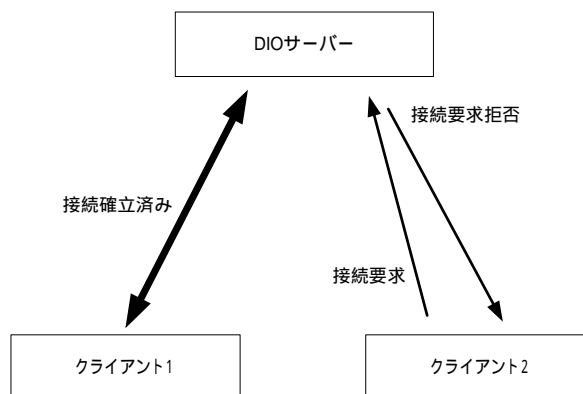



図 3.1 強制切替’無し’での動作

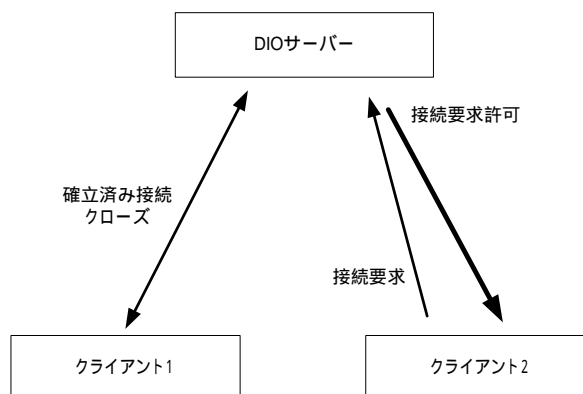



図 3.2 強制切替’有り’での動作

3.1.11 ファームウェア書換機能

以下の手順でファームウェアの書き換えを行います。
※以下の例はユニット IP＝192.168.1.240 の場合です。
※xxx は任意の文字列です。

① ftp でログイン

```
C:¥>ftp 192.168.1.240
Connected to 192.168.1.240
220 FTP Server ready
User (192.168.1.240:(none)):xxx
331 Password required
Password:xxx
230 Logged in
ftp>
```

② ftp でファームウェアを転送

```
ftp>put "C:¥D88.mot"
200 PORT Command successful
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: xxxxxxbytes sent in xxxSeconds xxxbytes/sec.
ftp>
```

③ ファーム転送完了後、ログアウト

```
ftp>bye
221 Goodbye
```

④ telnet でログイン

```
telnet 192.168.1.240
login:xxx
Password:xxx
#
```

⑤ flash コマンドで FROM のファームを書き換える

```
#flash D88.mot
プログラムを書き換えますか(Yes/No) = Yes

Convert...
Convert OK
Erase&Write...
Erase&Write OK
#
```

⑥ Telnet からリブートを行う（本体リセットでも可）

```
#Reboot
```

以上の手順でファームウェアの書き換えが完了します。

※⑤の手順で予期せぬ要因（電源断等）で書き換えが失敗した場合、ファームウェアが
消えてしまいます。(運転モードでの運用が不可能)
復旧方法 ⇒ UP-DATE モードにて、PHNManager を使用してファーム転送を行ってください。
操作方法については、PHNManager の取扱説明書を参照してください。

3.2 初期化モード

3.2.1　機能

本器の各設定パラメータを工場出荷時の設定に戻します。

※工場出荷時設定については、「5 工場出荷時設定値一覧」を参照してください。

3.2.2　運用

１．ロータリースイッチを7に合わせ、本器を起動（再起動）します。
２．ステータス表示LEDが10秒間点滅します。
３．出荷時設定への書換えが完了すると、ステータス表示LEDが点灯に変わります。

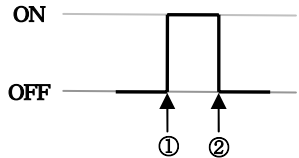
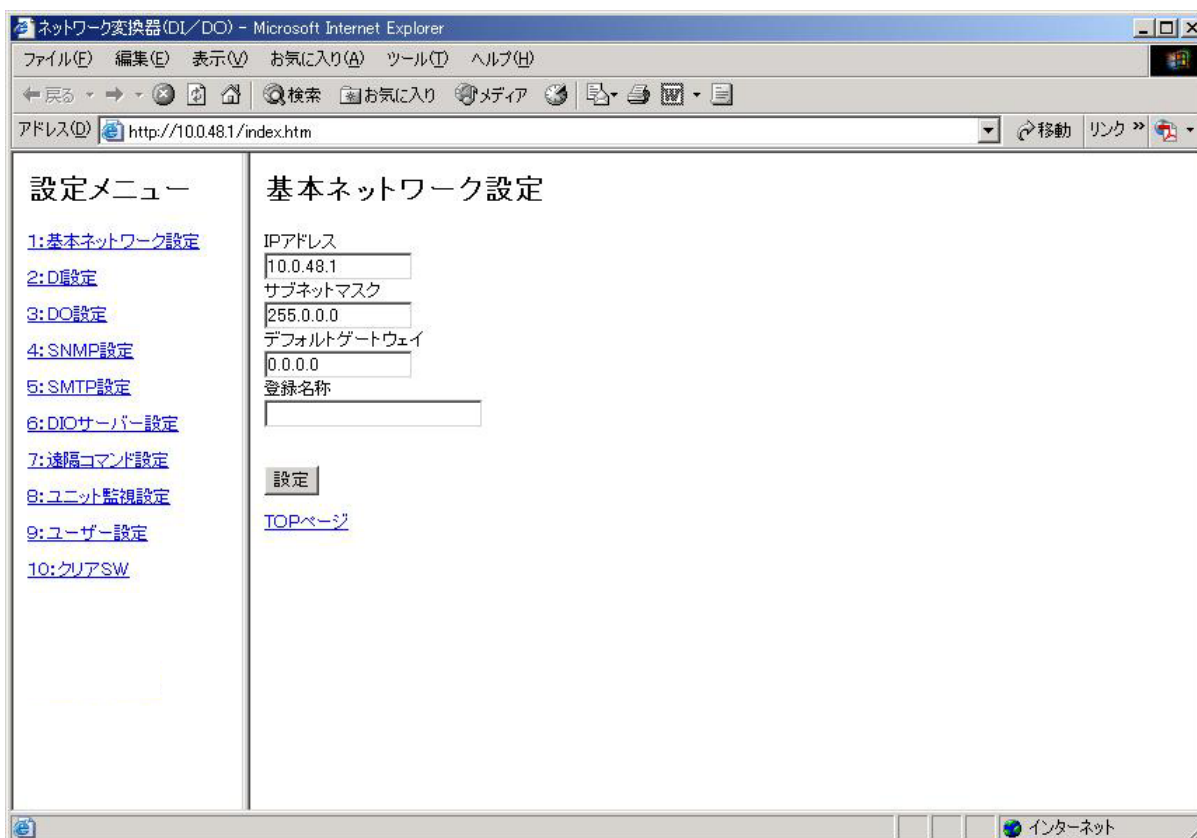
3.3 ファームウェア書換モード

本器の運転モードで動作するファームウェアの書き換えを行います。
PHNManagerにてファームウェアの書き換えを行います。
操作方法については、PHNManagerの取扱説明書を参照してください。

4 運転パラメータの設定

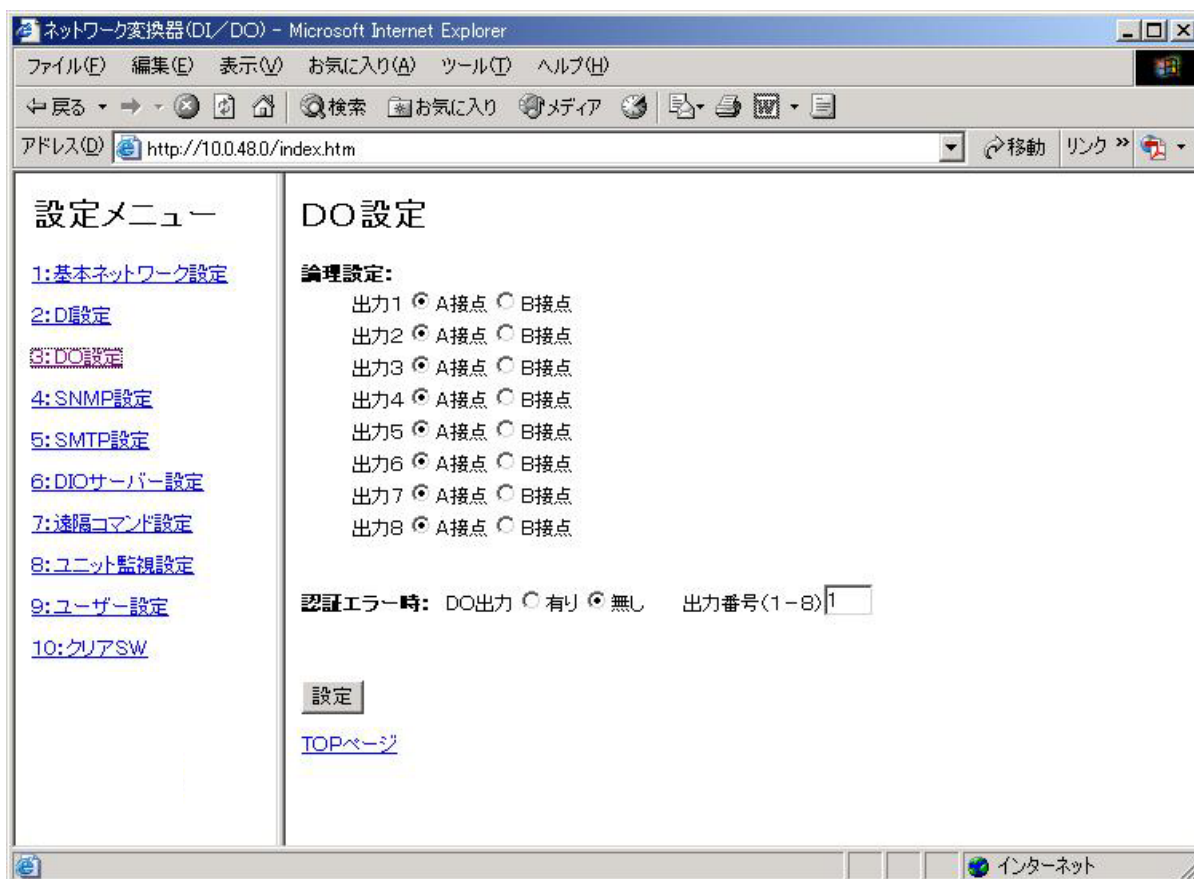
4.1 ブラウザからの設定

お使いのブラウザで、本器の IP アドレスを直接指定して下さい。IP アドレスを変更していない場合は、本器裏面の銘板に表示されている IP アドレスを入力してください。
http://ユニット IP アドレス/index.htm

※工場出荷時のログイン名及びパスワードについては、「5 工場出荷時設定値一覧」を参照してください。
※変更した設定値を保存するには、画面毎に設定ボタンを押す必要があります。

4.1.1 トップ画面

画面の説明	
基本ネットワーク設定	ネットワーク関連の基本設定を行います。
DI 設定	デジタル入力関連の設定を行います。
DO 設定	デジタル出力関連の設定を行います。
SNMP 設定	SNMP 関連の設定を行います。
SMTP 設定	SMTP 関連の設定を行います。
DIO サーバー設定	DIO サーバー関連の設定を行います。
遠隔コマンド設定	遠隔コマンド関連の設定を行います。
ユニット監視設定	ユニット監視関連の設定を行います。
ユーザー設定	ユーザー設定関連の設定を行います。
クリア SW 設定	クリアスイッチ関連の設定を行います。

4.1.2　ＤＩ設定画面

画面の説明	
設定項目選択	設定するデジタル入力番号を選択します。
論理設定	入力の論理を設定します。 A 接点：接点を閉じると ON 信号と認識　B 接点：接点を閉じると OFF 信号と認識
信号定義	入力トリガの条件を設定します。ここで設定するトリガ条件のもとで、各種イベント（トラップ送信、メール送信、DO 出力、遠隔コマンド送信）が発生します。 無し：入力信号を受け付けません。 ON 状変：入力 ON 時（①）に信号を取り込みます。 OFF 状変：入力が OFF 時（②）に信号を取り込みます。 状変：入力が ON/OFF 時（①及び②）に信号を取り込みます。 ON OFF ① ②
SNMP トラップ	入力トリガ成立時、SNMP トラップ送信を’有り／無し’に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	入力トリガ成立時、メール発信を’有り／無し’に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
DO 出力	入力トリガ成立時、デジタル出力を’有り／無し’　に設定します。
出力番号	出力するデジタル出力番号（1～8）を入力します。
遠隔コマンド	入力トリガ成立時、遠隔コマンド送信を’有り／無し’に設定します。
コマンド番号	7：遠隔コマンド設定で登録されたコマンド番号（1～10）を入力します。
トラップ用入力 ポーリング間隔	トラップの入力状態監視間隔（50～2147483646msec）を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.3　ＤＯ設定画面

画面の説明	
論理設定	出力の論理を設定します。 A 接点：ON 信号で接点を閉じる　B 接点：ON 信号で接点を開く
認証エラー時：DO 出力	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、デジタル出力を’有り／無し’に設定します。 ※1
出力番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、デジタル出力する番号（1～8）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

※1　認証エラー時の DO 出力後、出力状態を元の状態に戻すにはユーザーよる以下の操作が必要です。

・DO の状態を元に戻す方法

　クリアスイッチ（全ビットクリアされます）（2.5 参照）

　遠隔コマンド機能（3.1.8 参照）

　DIO サーバー機能（ビット操作は出来ません）（3.1.10 参照）

　SNMP 機能（4.3 参照）

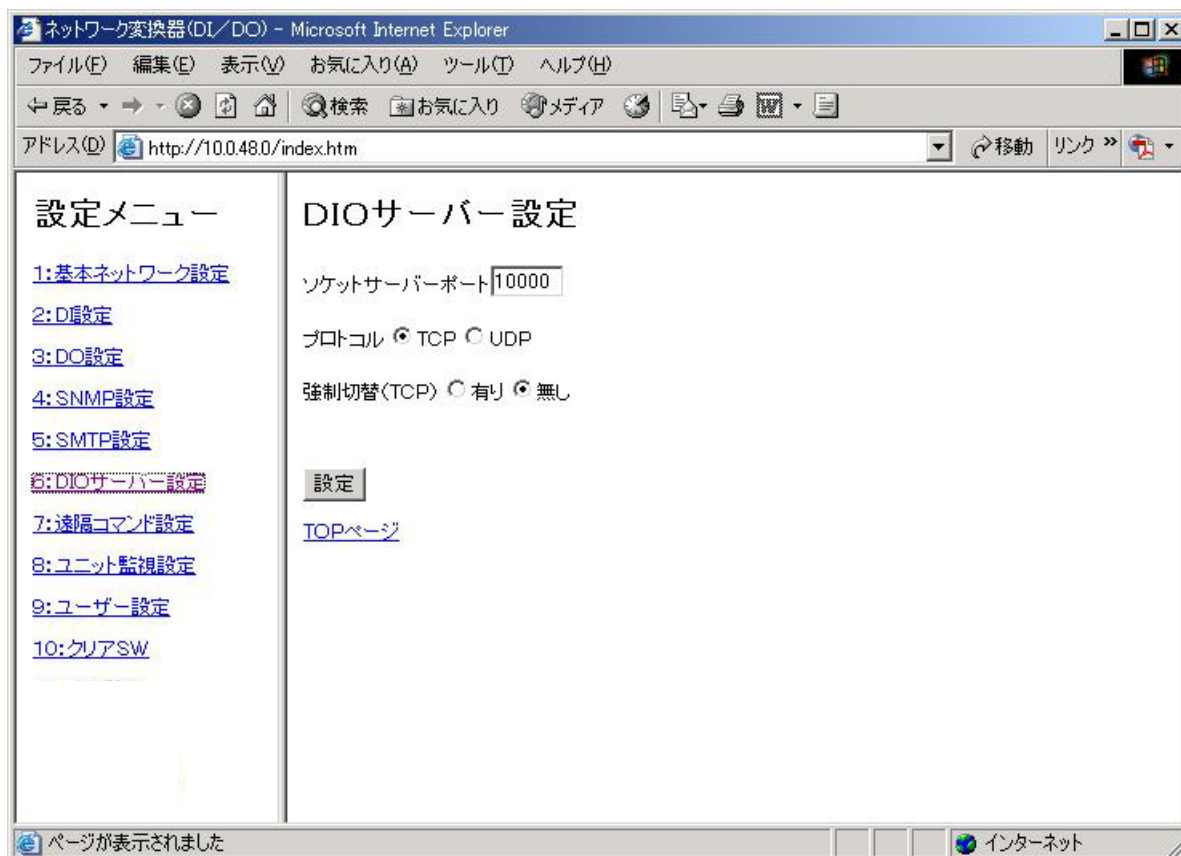
4.1.4　ＳＮＭＰ設定画面

画面の説明	
SNMP ポート番号	SNMP エージェント機能で使用するポートを設定します。（初期値：161）
リードコミュニティ名	リードコミュニティ名を設定します。（初期値：public）
リードライト コミュニティ名	リードライトコミュニティ名を設定します。（初期値：public）
トラップ送信先 IP	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
トラップ送信ポート	トラップ送信先のポート番号を入力します。
トラップコミュニティ名	コミュニティ名を入力します。
トラップリトライ回数 ※1	リトライ回数を入力します。（0～65535(回)）
トラップリトライ間隔 ※1	リトライ間隔を入力します。（1～2147483646(ms)）
認証エラー時： SNMP トラップ	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、トラップ送信を’有り／無し’に設定します。
トラップ番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、トラップ送信する番号（1～4）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

※1　トラップ送信要因発生時、リトライ回数分だけリトライ間隔をあけてトラップを送信します。

4.1.5　SMTP設定画面

画面の説明	
SMTP サーバー名	SMTP サーバーを設定します。 IP アドレス、またはドメインネームで設定してください。 ドメインネームを設定する場合は DNS の IP アドレス設定が必要です。
POP3 サーバー名	POP3 サーバーを設定します。 SMTP サーバーへの接続に POP before SMTP による認証が必要な場合に設定します。 IP アドレス、またはドメインネームで設定してください。 ドメインネームを設定する場合は DNS の IP アドレス設定が必要です。
DNS IP アドレス	DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
アカウント	メールアカウントを設定します。(メールアドレスの書式で入力してください。) 例　XXX@patlite.co.jp
パスワード	POP3 サーバーのパスワードを設定します。
署名	署名を入力します。(半角英数 255 文字まで)
送信先	メールの送信先を入力します。(半角英数 255 文字まで)
題目	メールの題目を入力します。(半角英数 63 文字まで)
内容	メールの内容を入力します。(半角英数 255 文字まで)
認証エラー時:メール発信	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール送信を’有り／無し’に設定します。
メール送信先番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール送信先の番号 (1～5) を入力します。
メール内容番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール内容の番号 (1～10) を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.6　ＤＩＯサーバー設定画面

画面の説明	
ソケットサーバーポート	DIO サーバー機能で使用するポート番号を入力します。
プロトコル	TCP／UDP のどちらで使用するかを設定します。
強制切替	強制切り替え機能を’有り／無し’に設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.7　遠隔コマンド設定画面

画面の説明	
監視先 IP アドレス	遠隔操作対象の IP アドレス（クライアント側）を入力します。
ユーザー名	遠隔コマンドでのユーザー名を入力します。(31 文字まで)
コマンド	送信するコマンドを入力します。(255 文字まで)
認証エラー時	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、遠隔コマンドの番号（1～10）を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.8　ユニット監視設定画面

画面の説明	
設定項目選択	1～10 のどの監視対象機器の設定を行うかを選択します。
監視先 IP アドレス	監視対象機器の IP アドレスを入力します。
監視周期	監視周期（0～2147483646 秒）を入力します。
タイムアウト時間	タイムアウト時間（0～2147483646 秒）を入力します。
SNMP トラップ	監視異常発生時、SNMP トラップ送信を'有り／無し'に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	監視異常発生時、メール発信を'有り／無し'に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
DO 出力	監視異常発生時、デジタル出力を'有り／無し'に設定します。※1
出力番号	デジタル出力する番号（1～8）を入力します。
遠隔コマンド	監視異常発生時、遠隔コマンド送信を'有り／無し'に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号（1～10）を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

※1　ユニット監視エラー発生時の DO 出力後、出力状態を元の状態に戻すにはユーザーよる以下の操作が必要です。

・DO の状態を元に戻す方法

　クリアスイッチ（全ビットクリアされます）（2.5 参照）

　遠隔コマンド機能（3.1.8 参照）

　DIO サーバー機能（ビット操作は出来ません）（3.1.10 参照）

　SNMP 機能（4.3 参照）

4.1.9　ＵＳＥＲ設定画面

画面の説明	
TELNET ユーザー名	TELNET 認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
TELNET パスワード	TELNET 認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
FTP ユーザー名	FTP 認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
FTP パスワード	FTP 認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
WEB ユーザー名	ブラウザ認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
WEB パスワード	ブラウザ認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.1.10 クリアＳＷ設定画面

画面の説明	
SNMP トラップ	クリアスイッチ押下時、SNMP トラップ送信を’有り／無し’に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号（1～4）を入力します。
メール発信	監視異常発生時、メール発信を’有り／無し’に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号（1～5）を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号（1～10）を入力します。
遠隔コマンド	クリアスイッチ押下時、遠隔コマンド送信を’有り／無し’に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号（1～10）を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

4.2 TELNET からの設定

4.2.1　コマンドツリー

DIOサーバー
ｿｹｯﾄｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
強制切替
Quit
遠隔コマンド
ｺﾏﾝﾄﾞ番号
送信先IP
送信先ﾕｰｻﾞｰ名
ｺﾏﾝﾄﾞ内容
認証失敗時
ｺﾏﾝﾄﾞ送信の有無
送信ｺﾏﾝﾄﾞ番号
Quit
ユニット監視
監視ﾕﾆｯﾄ番号(1～10)
IPｱﾄﾞﾚｽ
監視周期
ﾀｲﾑｱｳﾄ時間
異常時ﾄﾗｯﾌﾟの有無
ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号
異常時ﾒｰﾙの有無
ﾒｰﾙ送信先番号
送信ﾒｰﾙ内容番号
出力の有無
出力番号
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先番号
Quit
ユーザー設定
Telnet
ﾕｰｻﾞｰ名
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
Web
ﾕｰｻﾞｰ名
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
Ftp
ﾕｰｻﾞｰ名
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
Quit
クリアSW
ﾄﾗｯﾌﾟの有無
ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号
ﾒｰﾙ送信の有無
ﾒｰﾙ送信先番号
ﾒｰﾙ内容番号
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先番号
Quit

4.2.2　コマンド詳細

#flash コマンド　FTP で転送したファームウェアをフラッシュに書き込みます。
例) #flash　d88.mot
プログラムを書き換えますか(Yes/No)=Yes
Convert...
Convert OK
Erase&Write...
Erase&Write OK

#help コマンド　設定項目メニュー画面を表示します。
4.2.3[基本ネットワーク設定メニュー]～4.2.12[クリア SW 設定メニュー]を参照ください。

#reboot コマンド　ユニット本体のリセットを行います。
例) #reboot
ReBoot します(Yes/No) =

4.2.3　基本ネットワーク設定メニュー

【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER　10:ｸﾘｱ SW　0:QUIT

>1　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[基本ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択)

【基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニュー】
1:IPｱﾄﾞﾚｽ 2:ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 3:ｹﾞｰﾄｳｪｲ 4:登録名称 0:QUIT

>1　(基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[IPｱﾄﾞﾚｽ]を選択)

現在の IPｱﾄﾞﾚｽ = xxx.xxx.xxx.xxx
IPｱﾄﾞﾚｽ =

>2　(基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]を選択)

現在のｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ = xxx.xxx.xxx.xxx
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ =

>3　(基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]を選択)

現在のｹﾞｰﾄｳｪｲ = xxx.xxx.xxx.xxx
ｹﾞｰﾄｳｪｲ =

>4　(基本ﾈｯﾄﾜｰｸ設定メニューより[登録名称]を選択)

現在の登録名称 =
登録名称 =

4.2.4　ＤＩ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱSW  0:QUIT
```

>2　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DI]を選択)

```
【DI 入力設定メニュー】
1:ﾄﾗｯﾌﾟ周期 2:入力設定 0:QUIT
```

>1　(DI 入力設定ﾒﾆｭｰより[ﾄﾗｯﾌﾟ周期]を選択)

```
現在のﾄﾗｯﾌﾟ周期(ms) = **
ﾄﾗｯﾌﾟ周期(ms)
```

>2　(DI 入力設定ﾒﾆｭｰより[入力設定]を選択)

```
設定を行なう入力番号(1-8)  =  *

現在の論理(0=A 接点､1=B 接点) = 0
論理 =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ発生(0:無し 1:立上り 2:立下り 3:両方) = 0
ﾄﾗｯﾌﾟ発生 =

現在のﾄﾗｯﾌﾟの有無 = No
ﾄﾗｯﾌﾟの有無(y/n) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号 = 0
ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号(1-4) =

現在のﾒｰﾙ送信の有無 = No
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 = 0
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容番号 = 0
送信ﾒｰﾙ内容番号(1-10) =

現在の出力の有無 = No
出力の有無(y/n) =

現在の出力番号 = 0
出力番号(1-8) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無 = No
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無(y/n) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号 = 0
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号(1-10) =
```

4.2.5　ＤＯ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱSW  0:QUIT
```

>1　（ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DO]を選択）

```
【DO出力設定メニュー】
1:論理定義 2:認証失敗時 0:QUIT
```

>1　（DO出力設定メニューより[論理定義]を選択）

```
現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do1 = 0
論理 Do1 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do2 = 0
論理 Do2 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do3 = 0
論理 Do3 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do4 = 0
論理 Do4 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do5 = 0
論理 Do5 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do6 = 0
論理 Do6 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do7 = 0
論理 Do7 =

現在の論理(0=A接点､1=B接点) Do8 = 0
論理 Do8 =
```

>2　（DO出力設定メニューより[認証失敗時]を選択）

```
現在の出力の有無 = No
出力の有無(y/n)

現在の出力番号 =
出力番号(1-8) =
```

4.2.6　ＳＮＭＰ設定メニュー

【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER　10:ｸﾘｱ SW　0:QUIT

>4　　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[SNMP]を選択)

【SNMP 設定メニュー】
1:SNMPﾎﾟｰﾄ番号 2: ｺﾐｭﾆﾃｨ 3:TRAP 4::認証ﾄﾗｯﾌﾟ　0:QUIT

>1　　(SNMP 設定メニューより[SNMPﾎﾟｰﾄ番号]を選択)

現在の SNMPﾎﾟｰﾄ番号 = 161
SNMPﾎﾟｰﾄ番号 =

>2　　(SNMP 設定メニューより[ｺﾐｭﾆﾃｨ]を選択)

現在のｺﾐｭﾆﾃｨ =
1:ｺﾐｭﾆﾃｨ(R)　2:ｺﾐｭﾆﾃｨ(R/W)=

>3　　(SNMP 設定メニューより[TRAP]を選択)

現在の TRAP 番号(1-4) =
TRAP 番号(1-4) =

>4　　(SNMP 設定メニューより[認証ﾄﾗｯﾌﾟ]を選択)

現在の認証ﾄﾗｯﾌﾟの有無 =
認証ﾄﾗｯﾌﾟの有無(y/n) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号 =
ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号(1-4) =

4.2.7　ＳＭＴＰ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱSW  0:QUIT

  >5   (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[SMTP]を選択)
  【SMTP設定メニュー】
  1:署名 2: SMTPｻｰﾊﾞｰ名 3:POP3ｻｰﾊﾞｰ名 4::DNS IPｱﾄﾞﾚｽ 5:ｱｶｳﾝﾄ
  6:ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 7: 送信先 8:題目 9:内容 10:認証失敗時 0:QUIT

    >1   (SMTP設定メニューより[署名]を選択)
    現在の署名 =
    署名 =

    >2   (SMTP設定メニューより[SMTPｻｰﾊﾞ名]を選択)
    現在のSMTPｻｰﾊﾞ名 =
    SMTPｻｰﾊﾞ名 =

    >3   (SMTP設定メニューより[POP3ｻｰﾊﾞ名]を選択)
    現在のPOP3ｻｰﾊﾞ名 =
    POP3ｻｰﾊﾞ名 =

    >4   (SMTP設定メニューより[DNS  IPｱﾄﾞﾚｽ]を選択)
    現在のDNS IPｱﾄﾞﾚｽ =
    DNS IPｱﾄﾞﾚｽ =

    >5   (SMTP設定メニューより[ｱｶｳﾝﾄ]を選択)
    現在のｱｶｳﾝﾄ =
    ｱｶｳﾝﾄ =

    >6   (SMTP設定メニューより[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)
    現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
    ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =

    >7   (SMTP設定メニューより[送信先]を選択)
    現在の送信先番号 =
    送信先番号(1-5) =

    >8   (SMTP設定メニューより[題目]を選択)
    現在の題目番号 =
    題目番号(1-10) =

    >9   (SMTP設定メニューより[内容]を選択)
    現在の内容番号 =
    内容番号(1-10) =
```

```
>10    (SMTP設定メニューより[認証失敗時]を選択)
```

```
現在のﾒｰﾙ送信の有無 =
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 =
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容 =
送信ﾒｰﾙ内容(1-10) =
```

4.2.8　ＤＩＯサーバー設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱSW  0:QUIT
```

```
>6    (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[DIOｻｰﾊﾞｰ]を選択)
```

```
【DIOｻｰﾊﾞｰ設定メニュー】
1:DIOｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ 2:ﾌﾟﾛﾄｺﾙ 3:強制切替 0:QUIT
```

```
>1    (DIOｻｰﾊﾞｰ)設定メニューより[DIOｻｰﾊﾞﾎﾟｰﾄ]を選択)
```

```
現在のDIOｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ番号 =
DIOｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ番号(5001-65535) =
```

```
>2    (DIOｻｰﾊﾞｰ)設定メニューより[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]を選択)
```

```
現在のﾌﾟﾛﾄｺﾙ =
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ(0:TCP   1:UDP) =
```

```
>3    (DIOｻｰﾊﾞｰ)設定メニューより[強制切替]を選択)
```

```
現在の強制切替の有無 =
強制切替の有無(y/n) =
```

4.2.9　遠隔コマンド設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱSW  0:QUIT
```

>7　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ]を選択)

```
【遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ設定メニュー】
1:ｺﾏﾝﾄﾞ設定 2: 認証失敗時0:QUIT
```

>1　遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ設定メニューより[ｺﾏﾝﾄﾞ設定]を選択)

```
ｺﾏﾝﾄﾞ番号(1-10) =

現在のｺﾏﾝﾄﾞ送信先IPｱﾄﾞﾚｽ =
ｺﾏﾝﾄﾞ送信先IPｱﾄﾞﾚｽ =

現在の送信先ﾕｰｻﾞｰ名 =
送信先ﾕｰｻﾞｰ名 =

現在のｺﾏﾝﾄﾞ内容 =
ｺﾏﾝﾄﾞ内容 =
```

>2　遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ設定メニューより[認証失敗時]を選択)

```
現在のｺﾏﾝﾄﾞ送信の有無 =
ｺﾏﾝﾄﾞ送信の有無(y/n) =

現在のｺﾏﾝﾄﾞ送信先番号 =
ｺﾏﾝﾄﾞ送信先番号(1-10) =
```

4.2.10 ユニット監視設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱ SW  0:QUIT

  >8    (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[ﾕﾆｯﾄ監視]を選択)
  【ﾕﾆｯﾄ監視設定メニュー】
  1:監視ﾕﾆｯﾄ設定 0:QUIT

    >1    (ﾕﾆｯﾄ監視設定メニューより[監視ﾕﾆｯﾄ設定]を選択)
    設定を行うﾕﾆｯﾄ番号(1-10) =

    現在のﾕﾆｯﾄ監視 IP ｱﾄﾞﾚｽ =
    ﾕﾆｯﾄ監視 IP ｱﾄﾞﾚｽ =

    現在の監視周期(s) =
    監視周期(s) =

    現在の監視ﾀｲﾑｱｳﾄ時間(s) =
    監視ﾀｲﾑｱｳﾄ時間(s) =

    現在のﾄﾗｯﾌﾟの有無 =
    ﾄﾗｯﾌﾟの有無(y/n) =

    現在のﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号 =
    ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号(1-4) =

    現在のﾒｰﾙ送信の有無 =
    ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

    現在のﾒｰﾙ送信先番号 =
    ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

    現在の送信ﾒｰﾙ内容番号 =
    送信ﾒｰﾙ内容番号(1-10) =

    現在の出力の有無 =
    出力の有無(y/n) =

    現在の出力番号 =
    出力番号(1-8) =

    現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無 =
    遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無(y/n) =

    現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号 =
    遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号(1-10) =
```

4.2.11 ＵＳＥＲ設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱSW  0:QUIT
```

>9　(ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[USER]を選択)

```
【USER設定メニュー】
1:Telnetﾕｰｻﾞ名 2:Telnetﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 3:Webﾕｰｻﾞ名 4:Webﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
5:FTPﾕｰｻﾞ名 6:FTPﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0:QUIT
```

>1　(USER設定メニューより[Telnetﾕｰｻﾞｰ名]を選択)

```
現在のTelnetﾕｰｻﾞ名 =
Telnetﾕｰｻﾞ名=
```

>2　(USER設定メニューより[Telnetﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

```
現在のTelnetﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
Telnetﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=
```

>3　(USER設定メニューより[Webﾕｰｻﾞｰ名]を選択)

```
現在のWebﾕｰｻﾞ名 =
Webﾕｰｻﾞ名=
```

>4　(USER設定メニューより[Webﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

```
現在のWebﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
Webﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=
```

>5　(USER設定メニューより[FTPﾕｰｻﾞｰ名]を選択)

```
現在のFTPﾕｰｻﾞ名 =
FTPﾕｰｻﾞ名=
```

>6　(USER設定メニューより[FTPﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]を選択)

```
現在のFTPﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =
FTPﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=
```

4.2.12 クリアＳW設定メニュー

```
【メインメニュー】
1:基本ﾈｯﾄﾜｰｸ 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOｻｰﾊﾞｰ 7:遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ 8:ﾕﾆｯﾄ監視
9:USER  10:ｸﾘｱ SW  0:QUIT

>10   (ﾒｲﾝﾒﾆｭｰより[ｸﾘｱ SW]を選択)
【ｸﾘｱ SW 設定メニュー】
1:ｸﾘｱ SW 0:QUIT

>1   (ｸﾘｱ SW 設定メニューより[ｸﾘｱ SW 設定]を選択)
現在のﾄﾗｯﾌﾟの有無 =
ﾄﾗｯﾌﾟの有無(y/n) =

現在のﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号 =
ﾄﾗｯﾌﾟ送信先番号(1-4) =

現在のﾒｰﾙ送信の有無 =
ﾒｰﾙ送信の有無(y/n) =

現在のﾒｰﾙ送信先番号 =
ﾒｰﾙ送信先番号(1-5) =

現在の送信ﾒｰﾙ内容番号 =
送信ﾒｰﾙ内容番号(1-10) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無 =
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞの有無(y/n) =

現在の遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号 =
遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ番号(1-10) =
```

4.3 SNMP からの設定

SNMP SET コマンドにより本ユニットの設定及び I/O の監視制御が行えます。

4.3.1 専用 MIB 定義一覧

di4(5)
■di4Logic(1)
■di4Event(2)
■di4Trap(3)
■di4TrapNo(4)
■di4Mail(5)
■di4MailNo(6)
■di4MailDoc(7)
■di4Output(8)
■di4OutputBit(9)
■di4Rsh(10)
■di4RshNo(11)
di5(6)
■di5Logic(1)
■di5Event(2)
■di5Trap(3)
■di5TrapNo(4)
■di5Mail(5)
■di5MailNo(6)
■di5MailDoc(7)
■di5Output(8)
■di5OutputBit(9)
■di5Rsh(10)
■di5RshNo(11)
di6(7)
■di6Logic(1)
■di6Event(2)
■di6Trap(3)
■di6TrapNo(4)
■di6Mail(5)
■di6MailNo(6)
■di6MailDoc(7)
■di6Output(8)
■di6OutputBit(9)
■di6Rsh(10)
■di6RshNo(11)
di7(8)
■di7Logic(1)
■di7Event(2)
■di7Trap(3)
■di7TrapNo(4)
■di7Mail(5)
■di7MailNo(6)
■di7MailDoc(7)
■di7Output(8)
■di7OutputBit(9)
■di7Rsh(10)
■di7RshNo(11)
di8(9)
■di8Logic(1)
■di8Event(2)
■di8Trap(3)
■di8TrapNo(4)
■di8Mail(5)
■di8MailNo(6)
■di8MailDoc(7)
■di8Output(8)
■di8OutputBit(9)
■di8Rsh(10)
■di8RshNo(11)
do(3)
doLogic(1)
■do1Logic(1)
■do2Logic(2)
■do3Logic(3)
■do4Logic(4)
■do5Logic(5)
■do6Logic(6)
■do7Logic(7)
■do8Logic(8)
■LoginErrOutput(9)
■LoginErrOutputBit(10)
snmp(4)
■snmpPort(1)
■roCommunity(2)
■rwCommunity(3)
trap(4)
■trap1Ip(1)
■trap1Port(2)
■trap1Community(3)
■trap1RetryCycle(4)
■trap1RetryCount(5)
■trap2Ip(6)
■trap2Port(7)
■trap2Community(8)
■trap2RetryCycle(9)
■trap2RetryCount(10)
■trap3Ip(11)
■trap3Port(12)
■trap3Community(13)
■trap3RetryCycle(14)
■trap3RetryCount(15)
■trap4Ip(16)
■trap4Port(17)
■trap4Community(18)
■trap4RetryCycle(19)
■trap4RetryCount(20)
■failLoginTrap(21)
■failLoginTrapNo(22)
smtp(5)
■signature(1)
■smtpServerName(2)
■pop3ServerName(3)
■dnsServerIp(4)
■mailAccount(5)
■mailPass(6)
mailAddress(7)
■mailAddress1(1)
■mailAddress2(2)
■mailAddress3(3)
■mailAddress4(4)
■mailAddress5(5)
mailTytle(8)
■mailTytle1(1)
■mailTytle2(2)
■mailTytle3(3)
■mailTytle4(4)
■mailTytle5(5)
■mailTytle6(6)
■mailTytle7(7)
■mailTytle8(8)
■mailTytle9(9)
■mailTytle10(10)
mailDoc(9)
■mailDoc1(1)
■mailDoc2(2)
■mailDoc3(3)
■mailDoc4(4)
■mailDoc5(5)
■mailDoc6(6)
■mailDoc7(7)
■mailDoc8(8)
■mailDoc9(9)
■mailDoc10(10)
failmail(10)
■failLoginMail(1)
■failLoginMailNo(2)
■failLoginMailDoc(3)
dioserver(6)
■dioserverPort(1)
■dioserverProtocol(2)
■dioserverChangePort(3)
rsh(7)
rsh1(1)
■rshIp1(1)
■rshUser1(2)
■rshCommand1(3)
rsh2(2)
■rshIp2(1)
■rshUser2(2)
■rshCommand2(3)
rsh3(3)
■rshIp3(1)
■rshUser3(2)
■rshCommand3(3)
rsh4(4)
■rshIp4(1)
■rshUser4(2)
■rshCommand4(3)
rsh5(5)
■rshIp5(1)
■rshUser5(2)
■rshCommand5(3)
rsh6(6)
■rshIp6(1)
■rshUser6(2)
■rshCommand6(3)
rsh7(7)
■rshIp7(1)
■rshUser7(2)
■rshCommand7(3)
rsh8(8)
■rshIp8(1)
■rshUser8(2)
■rshCommand8(3)
rsh9(9)
■rshIp9(1)
■rshUser9(2)
■rshCommand9(3)
rsh10(10)
■rshIp10(1)
■rshUser10(2)
■rshCommand10(3)
failRsh(11)
■failLoginRsh(1)
■failLoginRshNo(2)

check(8)
check1(1)
■checkIp1(1)
■checkCycle1(2)
■checkTimeout1(3)
■checkTrap1(4)
■checkTrap1No(5)
■checkMail1(6)
■checkMail1No(7)
■checkMail1Doc(8)
■checkOut1(9)
■checkOut1Bit(10)
■checkRsh1(11)
■checkRsh1No(12)
check2(2)
■checkIp2(1)
■checkCycle2(2)
■checkTimeout2(3)
■checkTrap2(4)
■checkTrap2No(5)
■checkMail2(6)
■checkMail2No(7)
■checkMail2Doc(8)
■checkOut2(9)
■checkOut2Bit(10)
■checkRsh2(11)
■checkRsh2No(12)
check3(3)
■checkIp3(1)
■checkCycle3(2)
■checkTimeout3(3)
■checkTrap3(4)
■checkTrap3No(5)
■checkMail3(6)
■checkMail3No(7)
■checkMail3Doc(8)
■checkOut3(9)
■checkOut3Bit(10)
■checkRsh3(11)
■checkRsh3No(12)
check4(4)
■checkIp4(1)
■checkCycle4(2)
■checkTimeout4(3)
■checkTrap4(4)
■checkTrap4No(5)
■checkMail4(6)
■checkMail4No(7)
■checkMail4Doc(8)
■checkOut4(9)
■checkOut4Bit(10)
■checkRsh4(11)
■checkRsh4No(12)
check5(5)
■checkIp5(1)
■checkCycle5(2)
■checkTimeout5(3)
■checkTrap5(4)
■checkTrap5No(5)
■checkMail5(6)
■checkMail5No(7)
■checkMail5Doc(8)
■checkOut5(9)
■checkOut5Bit(10)
■checkRsh5(11)
■checkRsh5No(12)
check6(6)
■checkIp6(1)
■checkCycle6(2)
■checkTimeout6(3)
■checkTrap6(4)
■checkTrap6No(5)
■checkMail6(6)
■checkMail6No(7)
■checkMail6Doc(8)
■checkOut6(9)
■checkOut6Bit(10)
■checkRsh6(11)
■checkRsh6No(12)
check7(7)
■checkIp7(1)
■checkCycle7(2)
■checkTimeout7(3)
■checkTrap7(4)
■checkTrap7No(5)
■checkMail7(6)
■checkMail7No(7)
■checkMail7Doc(8)
■checkOut7(9)
■checkOut7Bit(10)
■checkRsh7(11)
■checkRsh7No(12)
check8(8)
■checkIp8(1)
■checkCycle8(2)
■checkTimeout8(3)
■checkTrap8(4)
■checkTrap8No(5)
■checkMail8(6)
■checkMail8No(7)
■checkMail8Doc(8)
■checkOut8(9)
■checkOut8Bit(10)
■checkRsh8(11)
■checkRsh8No(12)
check9(9)
■checkIp9(1)
■checkCycle9(2)
■checkTimeout9(3)
■checkTrap9(4)
■checkTrap9No(5)
■checkMail9(6)
■checkMail9No(7)
■checkMail9Doc(8)
■checkOut9(9)
■checkOut9Bit(10)
■checkRsh9(11)
■checkRsh9No(12)
check10(10)
■checkIp10(1)
■checkCycle10(2)
■checkTimeout10(3)
■checkTrap10(4)
■checkTrap10No(5)
■checkMail10(6)
■checkMail10No(7)
■checkMail10Doc(8)
■checkOut10(9)
■checkOut10Bit(10)
■checkRsh10(11)
■checkRsh10No(12)
user(9)
■webUser(1)
■webPass(2)
■ftpUser(3)
■ftpPass(4)
■telnetUser(5)
■telnetPass(6)
clearSw(10)
■clearTrap(1)
■clearTrapNo(2)
■clearMail(3)
■clearMailNo(4)
■clearMailDoc(5)
■clearRsh(6)
■clearRshNo(7)

4.3.2　専用MIBオブジェクト解説

4.3.2.1[patliteModuleGroup]

(enterprises.patlite..4)

patliteModuleグループはパトライトの製品シリーズを識別する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	network-device	―	(4.3.2.2)

4.3.2.2[network-device Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule.2)

network-deviceグループはネットワークデバイス製品シリーズの為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	phn	―	(4.3.2.3)

4.3.2.3[phn Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule.network-device.1)

phnグループはネットワークデバイス製品シリーズを識別する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	phnD88	―	(4.3.2.4)

4.3.2.4[phnD88 Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule.network-device.phn.1)

phnD88グループはPHNシリーズD88ユニットを管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	phnState	―	(4.3.2.5)
2	phnParameter	―	(4.3.2.10)

4.3.2.5[phnState Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule.network-device. phn.phnD88.1)

phnStateグループはユニットのステータスを管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diEntry	―	(4.3.2.6)
2	doEntry	―	(4.3.2.7)
3	checkEntry	―	(4.3.2.8)
4	failLoginEntry	―	(4.3.2.9)

4.3.2.6 [diEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.1)
diEntry グループはデジタル入力の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diNumber	R	デジタル入力の I/O 点数
2	diValue1	R	デジタル入力１の状態 (0=OFF、1=ON)
3	diValue2	R	デジタル入力２の状態 (0=OFF、1=ON)
4	diValue3	R	デジタル入力３の状態 (0=OFF、1=ON)
5	diValue4	R	デジタル入力４の状態 (0=OFF、1=ON)
6	diValue5	R	デジタル入力５の状態 (0=OFF、1=ON)
7	diValue6	R	デジタル入力６の状態 (0=OFF、1=ON)
8	diValue7	R	デジタル入力７の状態 (0=OFF、1=ON)
9	diValue8	R	デジタル入力８の状態 (0=OFF、1=ON)

4.3.2.7 [doEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.2)
doEntry グループはデジタル出力の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	doNumber	R	デジタル出力の I/O 点数
2	doValue1	R/W	デジタル出力１の状態 (0=OFF、1=ON)
3	doValue2	R/W	デジタル出力２の状態 (0=OFF、1=ON)
4	doValue3	R/W	デジタル出力３の状態 (0=OFF、1=ON)
5	doValue4	R/W	デジタル出力４の状態 (0=OFF、1=ON)
6	doValue5	R/W	デジタル出力５の状態 (0=OFF、1=ON)
7	doValue6	R/W	デジタル出力６の状態 (0=OFF、1=ON)
8	doValue7	R/W	デジタル出力７の状態 (0=OFF、1=ON)
9	doValue8	R/W	デジタル出力８の状態 (0=OFF、1=ON)

4.3.2.8 [checkEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.3)
checkEntry グループはユニット監視の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。ユニット監視エラー発生時、checkValue の値は１になります。
元の値に戻すにはユーザーの操作によって checkValue の値を０に書き換えてください。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	checkValue1	R/W	ユニット監視１の状態 (0=正常、1=監視異常)
2	checkValue2	R/W	ユニット監視２の状態 (0=正常、1=監視異常)
3	checkValue3	R/W	ユニット監視３の状態 (0=正常、1=監視異常)
4	checkValue4	R/W	ユニット監視４の状態 (0=正常、1=監視異常)
5	checkValue5	R/W	ユニット監視５の状態 (0=正常、1=監視異常)
6	checkValue6	R/W	ユニット監視６の状態 (0=正常、1=監視異常)
7	checkValue7	R/W	ユニット監視７の状態 (0=正常、1=監視異常)
8	checkValue8	R/W	ユニット監視８の状態 (0=正常、1=監視異常)
9	checkValue9	R/W	ユニット監視９の状態 (0=正常、1=監視異常)
10	checkValue10	R/W	ユニット監視１０の状態 (0=正常、1=監視異常)

4.3.2.9 [failLoginEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.4)

failLoginEntry グループは認証エラーの状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginTelnetValue	R/W	telnet 認証の状態　(0=正常、1=異常)
2	failLoginWebValue	R/W	web 認証の状態　(0=正常、1=異常)
3	failLoginMailValue	R/W	mail 認証の状態　(0=正常、1=異常)

4.3.2.10 [phncParameter Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.2)

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	network	－	(4.3.2.11)
2	di	－	(4.3.2.12)
3	do	－	(4.3.2.14)
4	snmp	－	(4.3.2.16)
5	smtp	－	(4.3.2.18)
6	dioserver	－	(4.3.2.23)
7	rsh	－	(4.3.2.24)
8	check	－	(4.3.2.27)
9	user	－	(4.3.2.29)
10	clearSw	－	(4.3.2.30)

4.3.2.11 [network Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.1)

network グループはネットワーク設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	ip	R	IP アドレス
2	netmask	R	サブネットマスク
3	gateway	R	ゲートウェイ
4	mac	R	MAC アドレス
5	name	R/W	機器名

4.3.2.12 [di Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.2)

di グループはデジタル入力設定を管理する為のグループです。以下のグループ／オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diTrapCycle	R/W	入力トラップの監視周期
2	di1	－	(4.3.2.13)
3	di2	－	(4.3.2.13)
4	di3	－	(4.3.2.13)
5	di4	－	(4.3.2.13)
6	di5	－	(4.3.2.13)
7	di6	－	(4.3.2.13)
8	di7	－	(4.3.2.13)
9	di8	－	(4.3.2.13)

4.3.2.13　［diX Group］　※X は 1～8 の数値⇒デジタル入力 1～8 に対応

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.di.2～9)

diX グループはデジタル入力の個別設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diXLogic	R/W	入力論理 (0=A 接点､1=B 接点)
2	diXEvent	R/W	イベント条件 (0=無し、1=ON 状変、2= OFF 状変、3= 状変)
3	diXTrap	R/W	イベント条件成立時、トラップ通知の有無 (0=無し、1=有り)
4	diXTrapNo	R/W	通知するトラップの登録番号
5	diXMail	R/W	イベント条件成立時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
6	diXMailNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
7	diXMailDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
8	diXOutput	R/W	イベント条件成立時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
9	diXOutputBit	R/W	出力するデジタル出力の番号
10	diXRsh	R/W	イベント条件成立時、遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
11	diXRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.14　［do Group］

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.3)

do グループはデジタル出力の設定を管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	doLogic	－	(4.3.2.15)

4.3.2.15　［doLogic Group］

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.do.1)

doLogic グループはデジタル出力のここの設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	do1Logic	R/W	出力 1 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
2	do2Logic	R/W	出力 2 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
3	do3Logic	R/W	出力 3 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
4	do4Logic	R/W	出力 4 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
5	do5Logic	R/W	出力 5 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
6	do6Logic	R/W	出力 6 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
7	do7Logic	R/W	出力 7 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
8	do8Logic	R/W	出力 8 論理 (0=A 接点､1=B 接点)
9	LoginErrOutput	R/W	認証エラー時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
10	LoginErrOutputBit	R/W	出力するデジタル出力の番号

4.3.2.16　［snmp Group］

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.4)

snmp グループは SNMP 設定を管理する為のグループです。以下のグループ／オブジェクトが登録されています

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	snmpPort	R/W	SNMP ポート
2	roCommunity	R/W	リードコミュニティ名
3	rwCommunity	R/W	リードライトコミュニティ名
4	trap	－	(4.3.2.17)

4.3.2.17　[trap Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.Snmp.4)
トラップグループはSNMP トラップ設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	trap1Ip	R/W	トッラプ1送信先IP
2	trap1Port	R/W	トラップ1送信先ポート
3	trap1Community	R/W	トッラプ1送信コミュニティ名
4	trap1RetryCycle	R/W	トラップ1送信リトライ間隔
5	trap1RetryCount	R/W	トラップ1送信リトライ回数
6	trap2Ip	R/W	トッラプ2送信先IP
7	trap2Port	R/W	トラップ2送信先ポート
8	trap2Community	R/W	トッラプ2送信コミュニティ名
9	trap2RetryCycle	R/W	トラップ2送信リトライ間隔
10	trap2RetryCount	R/W	トラップ2送信リトライ回数
11	trap3Ip	R/W	トッラプ3送信先IP
12	trap3Port	R/W	トラップ3送信先ポート
13	trap3Community	R/W	トッラプ3送信コミュニティ名
14	trap3RetryCycle	R/W	トラップ3送信リトライ間隔
15	trap3RetryCount	R/W	トラップ3送信リトライ回数
16	trap4Ip	R/W	トッラプ4送信先IP
17	trap4Port	R/W	トラップ4送信先ポート
18	trap4Community	R/W	トッラプ4送信コミュニティ名
19	trap4RetryCycle	R/W	トラップ4送信リトライ間隔
20	trap4RetryCount	R/W	トラップ4送信リトライ回数
21	failLoginTrap	R/W	認証エラー時、トラップ送信の有無　(0=無し、1=有り)
22	failLoginTrapNo	R/W	送信トラップの登録番号

4.3.2.18　[smtp Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.5)
smtp グループはSMTP 設定を管理する為のグループです。以下のグループ／オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	signature	R/W	署名
2	smtpServerName	R/W	SMTP サーバー名
3	pop3ServerName	R/W	POP3 サーバー名
4	dnsServerIp	R/W	DNS サーバーＩＰアドレス
5	mailAccount	R/W	メールアカウント
6	mailPass	R/W	POP3 サーバーパスワード
7	mailAddress	R/W	(4.3.2.19)
8	mailTytle	R/W	(4.3.2.20)
9	mailDoc	R/W	(4.3.2.21)
10	failmail	R/W	(4.3.2.22)

4.3.2.19　[mailAddress Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.7)
mailAddress グループはメール送信先のアドレスを管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailAddress1	R/W	送信先1メールアドレス
2	mailAddress2	R/W	送信先2メールアドレス
3	mailAddress3	R/W	送信先3メールアドレス
4	mailAddress4	R/W	送信先4メールアドレス
5	mailAddress5	R/W	送信先5メールアドレス

4.3.2.20　[mailTytle Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.8)
mailTytle グループは送信メールの題目を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailTytle1	R/W	送信メール題目 1
2	mailTytle2	R/W	送信メール題目 2
3	mailTytle3	R/W	送信メール題目 3
4	mailTytle4	R/W	送信メール題目 4
5	mailTytle5	R/W	送信メール題目 5
6	mailTytle6	R/W	送信メール題目 6
7	mailTytle7	R/W	送信メール題目 7
8	mailTytle8	R/W	送信メール題目 8
9	mailTytle9	R/W	送信メール題目 9
10	mailTytle10	R/W	送信メール題目 10

4.3.2.21　[mailDoc Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.9)
mailDoc グループは送信メールの内容を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailDoc1	R/W	送信メール内容 1
2	mailDoc2	R/W	送信メール内容 2
3	mailDoc3	R/W	送信メール内容 3
4	mailDoc4	R/W	送信メール内容 4
5	mailDoc5	R/W	送信メール内容 5
6	mailDoc6	R/W	送信メール内容 6
7	mailDoc7	R/W	送信メール内容 7
8	mailDoc8	R/W	送信メール内容 8
9	mailDoc9	R/W	送信メール内容 9
10	mailDoc10	R/W	送信メール内容 10

4.3.2.22　[failmail Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.10)
failmail グループは認証エラー時のメール送信設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginMail	R/W	認証エラー時、メール送信の有無　(0=無し、1=有り)
2	failLoginMailNo	R/W	送信メール送信先登録番号
3	failLoginMailDoc	R/W	送信メール内容登録番号

4.3.2.23　[dioserver Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.6)
dioserver グループは DIOServer 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dioserverPort	R/W	dioserver ポート
2	dioserverProtocol	R/W	プロトコル　(0=TCP、1=UDP)
3	dioserverChangePort	R/W	強制切替機能の有無　(0=無し、1=有り)

4.3.2.24　[rsh Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.7)

rsh グループは遠隔コマンド設定を管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	rsh1	−	(4.3.2.25)
2	rsh2	−	(4.3.2.25)
3	rsh3	−	(4.3.2.25)
4	rsh4	−	(4.3.2.25)
5	rsh5	−	(4.3.2.25)
6	rsh6	−	(4.3.2.25)
7	rsh7	−	(4.3.2.25)
8	rsh8	−	(4.3.2.25)
9	rsh9	−	(4.3.2.25)
10	rsh10	−	(4.3.2.25)
11	failRsh	−	(4.3.2.26)

4.3.2.25　[rshX Group] ※X は 1～10 の数値

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.rsh.1～10)

rshX グループは遠隔コマンド設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	rshIpX	R/W	遠隔コマンド送信先 IP
2	rshUserX	R/W	遠隔コマンド送信先ユーザー名
3	rshCommandX	R/W	遠隔コマンド送信コマンド

4.3.2.26　[failRsh Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.rsh.11)

failRsh グループは認証エラー時の遠隔コマンド送信設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが設定されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginRsh	R/W	認証エラー時の遠隔コマンド送信の有無　(0=無し、1=有り)
2	failLoginRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.27　[check Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.8)

check グループはユニット監視設定と管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	check1	−	(4.3.2.28)
2	check2	−	(4.3.2.28)
3	check3	−	(4.3.2.28)
4	check4	−	(4.3.2.28)
5	check5	−	(4.3.2.28)
6	check6	−	(4.3.2.28)
7	check7	−	(4.3.2.28)
8	check8	−	(4.3.2.28)
9	check9	−	(4.3.2.28)
10	check10	−	(4.3.2.28)

4.3.2.28 [checkn Group] ※n は 1～10 の数値

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.check.1～10)

checkX グループは個々のユニット監視設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	checkIpX	R/W	監視先ユニット IP アドレス
2	checkCycleX	R/W	監視周期
3	checkTimeoutX	R/W	監視タイムアウト時間
4	checkTrapX	R/W	監視エラー時、トラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
5	checkTrapXNo	R/W	送信するトラップの登録番号
6	checkMailX	R/W	監視エラー時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
7	checkMailXNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
8	checkMailXDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
9	checkOutX	R/W	監視エラー時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
10	checkOutXBit	R/W	出力するデジタル出力の番号
11	checkRsh	R/W	監視エラー時、遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
12	checkRshXNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.2.29 [user Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.9)

user グループはユーザー認証設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	webUser	R/W	web 認証ユーザー名
2	webPass	R/W	web 認証パスワード
3	ftpUser	R/W	ftp 認証ユーザー名
4	ftpPass	R/W	ftp 認証パスワード
5	telnetUser	R/W	telnet 認証ユーザー名
6	telnetPass	R/W	telnet 認証パスワード

4.3.2.30 [clearSw Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.10)

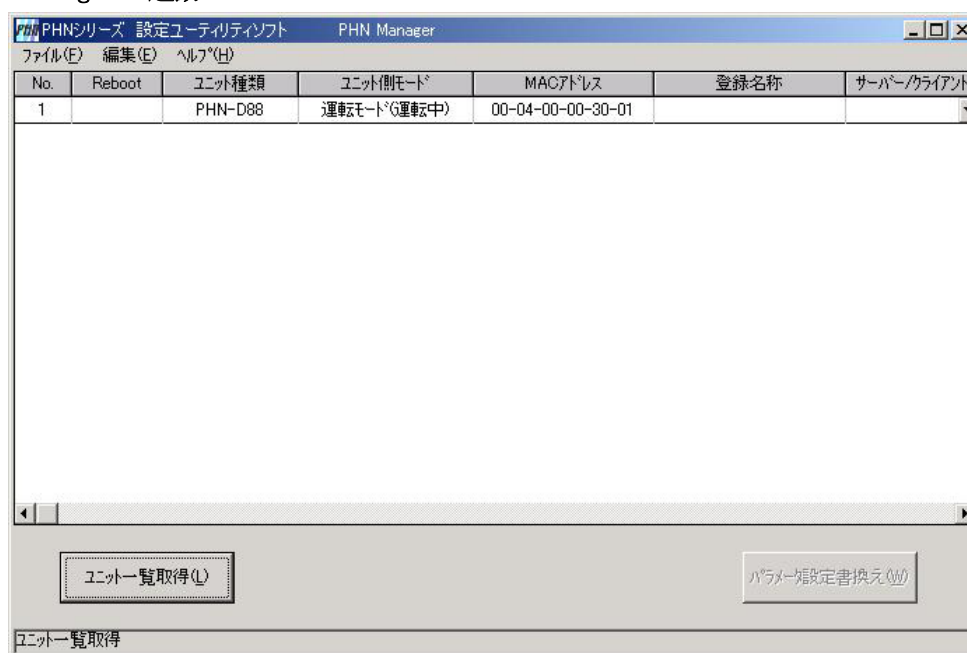
clearSw グループはクリア SW 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

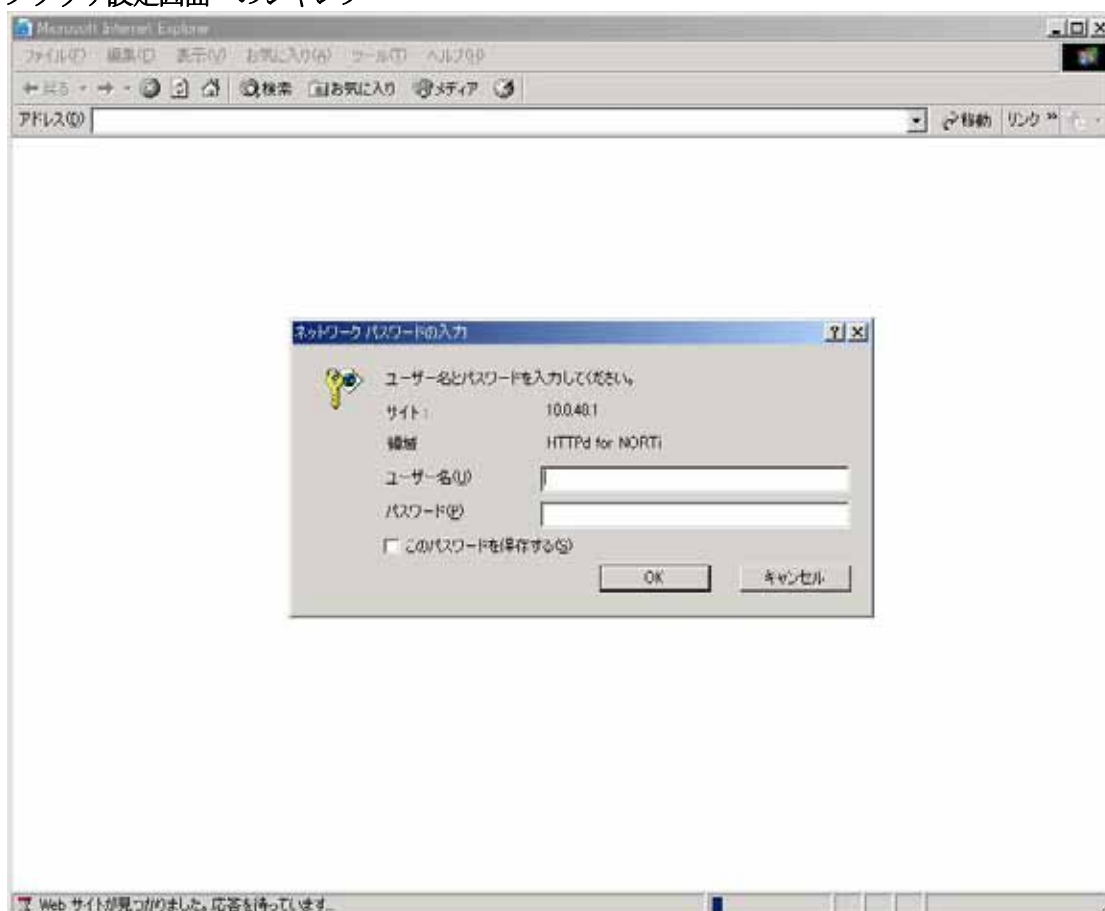
OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	clearTrap	R/W	クリア SW 押下時のトラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	clearTrapNo	R/W	送信するトラップの登録番号
3	clearMail	R/W	クリア SW 押下時のメール送信の有無 (0=無し、1=有り)
4	clearMailNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
5	clearMailDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
6	clearRsh	R/W	クリア SW 押下時の遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
7	clearRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

4.3.3 SNMP トラップ定義一覧

TRAP コード	名前	特定コード	TRAP 要因
0	coldStart	0	D88 の電源投入後もしくはリセット後 SNMP が初期化された
1	warmStart	0	未実装
2	linkDown	0	未実装
3	linkUp	0	未実装
4	authenticationFailure	0	SNMP マネージャーから無効なコミュニティメッセージを受信
5	egpNeighvorLoss	0	未実装
6	enterpriseSpecific	1000	diValue1 の状態変化が起こった
		1001	diValue2 の状態変化が起こった
		1002	diValue3 の状態変化が起こった
		1003	diValue4 の状態変化が起こった
		1004	diValue5 の状態変化が起こった
		1005	diValue6 の状態変化が起こった
		1006	diValue7 の状態変化が起こった
		1007	diValue8 の状態変化が起こった
		1008	クリア SW が押された
		1009	未使用
		1010	ユニット監視１　異常発生
		1011	ユニット監視２　異常発生
		1012	ユニット監視３　異常発生
		1013	ユニット監視４　異常発生
		1014	ユニット監視５　異常発生
		1015	ユニット監視６　異常発生
		1016	ユニット監視７　異常発生
		1017	ユニット監視８　異常発生
		1018	ユニット監視９　異常発生
		1019	ユニット監視 10 異常発生
		1020	認証エラー（telnet）が発生
		1021	認証エラー（web）が発生
		1022	認証エラー（ftp）　が発生

4.4 PHN マネージャーからの設定

4.4.1　PHNManager の起動

PHNManager 起動後、ユニット一覧取得ボタン押下にてユニット情報を表示します。

4.4.2　ブラウザ設定画面へのジャンプ

PHNManager に表示されるユニット情報欄をダブルクリックするとブラウザ設定画面へジャンプします。

※ブラウザからの設定方法設定については、「4.1 ブラウザからの設定」を参照ください。

5 工場出荷時設定値一覧

表 5-1　工場出荷時設定一覧

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
基本 ネットワーク	ip	ﾕﾆｯﾄ IP ｱﾄﾞﾚｽ	10.X.X.X(*1)	0.0.0.0～255.255.255.255
	netmask	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	gateway	ｹﾞｰﾄｳｪｲ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	name	登録名称		20 文字以内(半角英数)
デジタル 入力	diTrapCycle	ﾄﾗｯﾌﾟ用入力ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ間隔	50msec	50～2147483646(50mSの倍数)
	di1Logic	入力 1 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di1Event	入力 1 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di1Trap	入力 1 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di1TrapNo	入力 1 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di1Mail	入力 1 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di1MailNo	入力 1 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di1MailDoc	入力 1 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di1Output	入力1 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di1OutputBit	入力1 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di1Rsh	入力1 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di1RshNo	入力1 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di2Logic	入力 2 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di2Event	入力 2 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di2Trap	入力 2 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di2TrapNo	入力 2 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di2Mail	入力 2 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di2MailNo	入力 2 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di2MailDoc	入力 2 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di2Output	入力2 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di2OutputBit	入力2 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di2Rsh	入力2 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di2RshNo	入力2 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di3Logic	入力 3 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di3Event	入力 3 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di3Trap	入力 3 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di3TrapNo	入力 3 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di3Mail	入力 3 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di3MailNo	入力 3 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di3MailDoc	入力 3 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di3Output	入力3 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di3OutputBit	入力3 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di3Rsh	入力3 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di3RshNo	入力3 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di4Logic	入力 4 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di4Event	入力 4 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di4Trap	入力 4 ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di4TrapNo	入力 4 ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di4Mail	入力 4 ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di4MailNo	入力 4 ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di4MailDoc	入力 4 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di4Output	入力4 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di4OutputBit	入力4 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di4Rsh	入力4 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di4RshNo	入力4 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
デジタル入力	di5Logic	入力５ 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di5Event	入力５ 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di5Trap	入力５ ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di5TrapNo	入力５ ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di5Mail	入力５ ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di5MailNo	入力５ ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di5MailDoc	入力５ ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di5Output	入力5 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di5OutputBit	入力5 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di5Rsh	入力5 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di5RshNo	入力5 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di6Logic	入力６ 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di6Event	入力６ 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di6Trap	入力６ ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di6TrapNo	入力６ ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di6Mail	入力６ ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di6MailNo	入力６ ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di6MailDoc	入力６ ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di6Output	入力6 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di6OutputBit	入力6 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di6Rsh	入力6 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di6RshNo	入力6 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di7Logic	入力７ 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di7Event	入力７ 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di7Trap	入力７ ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di7TrapNo	入力７ ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di7Mail	入力７ ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di7MailNo	入力７ ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di7MailDoc	入力７ ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di7Output	入力7 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di7OutputBit	入力7 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di7Rsh	入力7 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di7RshNo	入力7 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di8Logic	入力８ 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di8Event	入力８ 入力ｲﾍﾞﾝﾄ条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di8Trap	入力８ ﾄﾗｯﾌﾟ発生許可	0	0=無、1=有
	di8TrapNo	入力８ ﾄﾗｯﾌﾟ送信先No.	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	di8Mail	入力８ ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	di8MailNo	入力８ ﾒｰﾙ送信先No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di8MailDoc	入力８ ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	di8Output	入力8 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di8OutputBit	入力8 任意の出力をON/OFF	0	1～8
	di8Rsh	入力8 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	di8RshNo	入力8 遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
デジタル出力	do1Logic	出力１ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do2Logic	出力２ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do3Logic	出力３ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do4Logic	出力４ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do5Logic	出力５ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do6Logic	出力６ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do7Logic	出力７ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do8Logic	出力８ 論理	0	0=A接点、1=B接点
	LoginErrOutput	認証ｴﾗｰ時(telnet,ftp,web)	0	0=無、1=有
	LoginErrOutputBit	認証ｴﾗｰ時(telnet,ftp,web)	0	1～8

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
SNMP	snmpPort	SNMPﾎﾟｰﾄ番号	161	1～65535
	roCommunity	ｺﾐｭﾆﾃｨ(R)	public	1～63 文字以内(半角英数)
	rwCommunity	ｺﾐｭﾆﾃｨ(R/W)	public	1～63 文字以内(半角英数)
	trap1Ip	TRAP1 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap1Port	TRAP1 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap1Community	TRAP1 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap1RetryCycle	TRAP1 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap1RetryCount	TRAP1 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	trap2Ip	TRAP2 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap2Port	TRAP2 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap2Community	TRAP2 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap2RetryCycle	TRAP2 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap2RetryCount	TRAP2 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	trap3Ip	TRAP3 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap3Port	TRAP3 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap3Community	TRAP3 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap3RetryCycle	TRAP3 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap3RetryCount	TRAP3 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	trap4Ip	TRAP4 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	trap4Port	TRAP4 ﾎﾟｰﾄ番号	162	1～65535
	trap4Community	TRAP4 ｺﾐｭﾆﾃｨ名	public	1～63文字以内(半角英数)
	trap4RetryCycle	TRAP4 ﾘﾄﾗｲ間隔	30秒	1～2147483646
	trap4RetryCount	TRAP4 ﾘﾄﾗｲ回数	0	0～65535　0=ﾘﾄﾗｲ無し
	failLoginTrap	認証失敗時ﾄﾗｯﾌﾟ発生有無	0	0=無、1=有
	failLoginTrapNo	認証失敗時ﾄﾗｯﾌﾟ送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)
SMTP	signature	署名		0～255 文字以内(半角英数)
	smtpServerName	SMTPｻｰﾊﾞｰ名		0～255 文字以内(半角英数)
	pop3ServerName	POP3ｻｰﾊﾞｰ名		0～255 文字以内(半角英数)
	dnsServerIp	DNSｻｰﾊﾞｰIPｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	mailAccount	ﾒｰﾙｻｰﾊﾞｰｱｶｳﾝﾄ		0～63文字以内(半角英数)
	mailPass	ﾒｰﾙｻｰﾊﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ		0～63文字以内(半角英数)
	mailAddress1	ﾒｰﾙ送信先1		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress2	ﾒｰﾙ送信先2		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress3	ﾒｰﾙ送信先3		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress4	ﾒｰﾙ送信先4		0～255文字以内(半角英数)
	mailAddress5	ﾒｰﾙ送信先5		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle1	ﾒｰﾙ題目 1		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc1	ﾒｰﾙ内容1		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle2	ﾒｰﾙ題目 2		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc2	ﾒｰﾙ内容2		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle3	ﾒｰﾙ題目 3		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc3	ﾒｰﾙ内容3		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle4	ﾒｰﾙ題目 4		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc4	ﾒｰﾙ内容4		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle5	ﾒｰﾙ題目 5		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc5	ﾒｰﾙ内容5		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle6	ﾒｰﾙ題目 6		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc6	ﾒｰﾙ内容6		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle7	ﾒｰﾙ題目 7		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc7	ﾒｰﾙ内容7		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle8	ﾒｰﾙ題目 8		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc8	ﾒｰﾙ内容8		0～255文字以内(半角英数)
	mailTytle9	ﾒｰﾙ題目 9		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc9	ﾒｰﾙ内容9		0～255文字以内(半角英数)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
SMTP	mailTytle10	ﾒｰﾙ題目 10		0～63文字以内(半角英数)
	mailDoc10	ﾒｰﾙ内容10		0～255文字以内(半角英数)
	failLoginMail	認証失敗時ﾒｰﾙ送信有無	0	0=無、1=有
	failLoginMailNo	認証失敗時ﾒｰﾙ送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	failLoginMailDoc	認証失敗時ﾒｰﾙ送信内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
DIO Server	dioserverPort	ｿｹｯﾄｻｰﾊﾞｰﾎﾟｰﾄ	10000	5001～65535
	dioserverProtocol	ｿｹｯﾄｻｰﾊﾞｰﾌﾟﾛﾄｺﾙ	0	0:TCP　1:UDP
	dioserverChangePort	強制切替	0	0=無、1=有
遠隔コマンド	rshIp1	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ1	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser1	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 1		31文字以内(半角英数)
	rshCommand1	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 1		255文字以内(半角英数)
	rshIp2	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ2	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser2	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 2		31文字以内(半角英数)
	rshCommand2	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 2		255文字以内(半角英数)
	rshIp3	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ3	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser3	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 3		31文字以内(半角英数)
	rshCommand3	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 3		255文字以内(半角英数)
	rshIp4	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ4	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser4	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 4		31文字以内(半角英数)
	rshCommand4	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 4		255文字以内(半角英数)
	rshIp5	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ5	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser5	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 5		31文字以内(半角英数)
	rshCommand5	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 5		255文字以内(半角英数)
	rshIp6	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ6	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser6	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 6		31文字以内(半角英数)
	rshCommand6	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 6		255文字以内(半角英数)
	rshIp7	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ7	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser7	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 7		31文字以内(半角英数)
	rshCommand7	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 7		255文字以内(半角英数)
	rshIp8	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ8	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser8	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 8		31文字以内(半角英数)
	rshCommand8	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 8		255文字以内(半角英数)
	rshIp9	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ9	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser9	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 9		31文字以内(半角英数)
	rshCommand9	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 9		255文字以内(半角英数)
	rshIp10	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ10	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	rshUser10	ｺﾏﾝﾄﾞ送信先ﾕｰｻﾞｰ名 10		31文字以内(半角英数)
	rshCommand10	ｺﾏﾝﾄﾞ内容 10		255文字以内(半角英数)
	failLoginRsh	認証失敗時ｺﾏﾝﾄﾞ送信有無	0	0=無、1=有
	failLoginRshNo	認証失敗時ｺﾏﾝﾄﾞ No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
ユニット監視	checkIp1	ping 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ1	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle1	ﾕﾆｯﾄ監視周期 1	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout1	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 1	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap1	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 1 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap1No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 1 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail1	異常時ﾒｰﾙ 1 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail1No	異常時ﾒｰﾙ 1 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail1Doc	異常時ﾒｰﾙ 1 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut1	異常時出力1ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut1Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh1	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ1送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh1No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ1送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユニット監視	checkIp2	ping 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ 2	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle2	ﾕﾆｯﾄ監視周期 2	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout2	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 2	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap2	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 2 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap2No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 2 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail2	異常時ﾒｰﾙ 2 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail2No	異常時ﾒｰﾙ 2 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail2Doc	異常時ﾒｰﾙ 2 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut2	異常時出力2ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut2Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh2	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ2送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh2No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ2送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp3	ping 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ 3	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle3	ﾕﾆｯﾄ監視周期 3	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout3	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 3	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap3	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 3 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap3No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 3 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail3	異常時ﾒｰﾙ 3 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail3No	異常時ﾒｰﾙ 3 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail3Doc	異常時ﾒｰﾙ 3 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut3	異常時出力3ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut3Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh3	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ3送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh3No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ3送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp4	ping 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ 4	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle4	ﾕﾆｯﾄ監視周期 4	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout4	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 4	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap4	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 4 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap4No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 4 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail4	異常時ﾒｰﾙ 4 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail4No	異常時ﾒｰﾙ 4 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail4Doc	異常時ﾒｰﾙ 4 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut4	異常時出力4ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut4Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh4	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ4送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh4No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ4送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp5	ping 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ 5	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle5	ﾕﾆｯﾄ監視周期 5	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout5	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 5	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap5	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 5 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap5No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 5 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail5	異常時ﾒｰﾙ 5 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail5No	異常時ﾒｰﾙ 5 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail5Doc	異常時ﾒｰﾙ 5 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut5	異常時出力5ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut5Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh5	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ5送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh5No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ5送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp6	ping 送信先 IPｱﾄﾞﾚｽ 6	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle6	ﾕﾆｯﾄ監視周期 6	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout6	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 6	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap6	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 6 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap6No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 6 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail6	異常時ﾒｰﾙ 6 送信有無	0	0=無、1=有

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユニット監視	checkMail6No	異常時ﾒｰﾙ 6 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail6Doc	異常時ﾒｰﾙ 6 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut6	異常時出力6ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut6Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh6	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ6送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh6No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ6送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp7	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 7	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle7	ﾕﾆｯﾄ監視周期 7	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout7	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 7	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap7	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 7 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap7No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 7 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail7	異常時ﾒｰﾙ 7 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail7No	異常時ﾒｰﾙ 7 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail7Doc	異常時ﾒｰﾙ 7 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut7	異常時出力7ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut7Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh7	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ7送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh7No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ7送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp8	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 8	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle8	ﾕﾆｯﾄ監視周期 8	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout8	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 8	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap8	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 8 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap8No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 8 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail8	異常時ﾒｰﾙ 8 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail8No	異常時ﾒｰﾙ 8 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail8Doc	異常時ﾒｰﾙ 8 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut8	異常時出力8ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut8Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh8	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ8送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh8No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ8送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp9	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 9	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle9	ﾕﾆｯﾄ監視周期 9	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout9	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 9	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap9	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 9 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap9No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 9 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail9	異常時ﾒｰﾙ 9 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail9No	異常時ﾒｰﾙ 9 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail9Doc	異常時ﾒｰﾙ 9 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut9	異常時出力9ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut9Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh9	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ9送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh9No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ9送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkIp10	ping 送信先 IP ｱﾄﾞﾚｽ 10	0.0.0.0	0.0.0.0～255.255.255.255
	checkCycle10	ﾕﾆｯﾄ監視周期 10	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTimeout10	ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 10	0 秒	0～2147483646(0 はﾀｲﾑｱｳﾄ無し)
	checkTrap10	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 10 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap10No	異常時ﾄﾗｯﾌﾟ 10 送信先 No.	0	0～4(trap1～trap4)(0 は無し)
	checkMail10	異常時ﾒｰﾙ 10 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail10No	異常時ﾒｰﾙ 10 送信先 No.	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkMail10Doc	異常時ﾒｰﾙ 10 内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	checkOut10	異常時出力10ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut10Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1～8
	checkRsh10	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ10送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh10No	異常時遠隔ｺﾏﾝﾄﾞ10送信先No.	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユーザー	telnetUser	telnet ﾕｰｻﾞ名	admin	1～63文字以内(半角英数)
	telnetPass	telnet ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	1～63 文字以内(半角英数)
	webUser	Web ﾕｰｻﾞ名	admin	1～63文字以内(半角英数)
	webPass	Web ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	1～63 文字以内(半角英数)
	ftpUser	ftp ﾕｰｻﾞ名	admin	1～63文字以内(半角英数)
	ftpPass	ftp ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	1～63 文字以内(半角英数)
クリア SW	clearTrap	ｸﾘｱ SW 押下時 ﾄﾗｯﾌﾟ有無	0	0=無、1=有
	clearTrapNo	ｸﾘｱ SW 押下時 ﾄﾗｯﾌﾟ番号	0	0～4(trap1～trap4)(同時設定可)
	clearMail	ｸﾘｱ SW 押下時 ﾒｰﾙ有無	0	0=無、1=有
	clearMailNo	ｸﾘｱ SW 押下時 ﾒｰﾙ番号	0	0～5(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	clearMailDoc	ｸﾘｱ SW 押下時 ﾒｰﾙ内容	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)
	clearRsh	ｸﾘｱ SW 押下時 ｺﾏﾝﾄﾞの有無	0	0=無、1=有
	clearRshNo	ｸﾘｱ SW 押下時 ｺﾏﾝﾄﾞ番号	0	0～10(ｶﾝﾏ区切り同時設定可)

※１ 第１オクテットの値は１０（１０進）の固定値が入ります。
第２～４オクテットの値はMAC アドレスの下３バイトの値を割り当てます。

例) MAC = 00-04-FD-01-02-03 ⇒ IP = 10.1.2.3
MAC = 00-04-FD-0A-0B-0C ⇒ IP = 10.10.11.12

6 トラブルシューティング

Q1　電源LEDが点灯しない

A1　・ACアダプタが正しく接続されていることを確認してください。

Q2　設定ユーティリティソフトから本製品を検索しても表示されない

A2　・設定ユーティリティソフトで使用しているパソコンと、
本製品が同一ネットワーク内であるか確認してください。
・LANケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。
・モード切替スイッチが運転モード、パラメータ設定初期化モードもしくはUP-DATEモードにて
動作していることを確認してください。

Q3　本製品にTCP接続できない

A3　・IP、ポート番号設定があっているかを確認してください。
・上位ホストと本製品が同一ネットワーク内にあるか確認してください。
・LANケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。
・モード切替スイッチが運転モードにて動作していることを確認してください

Q4　通信エラーがでる

A4　・LANケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。

7 製品仕様

7.1 一般仕様

項目	仕様
機種名	PHN-D88
定格電源電圧	AC100V±10% (付属ACアダプタ使用)
消費電力	15VA以下
絶縁抵抗	DC 500V にて1MΩ以上 (電源端子ーケース間)
耐電圧	AC 1000V 1分間 (電源端子ーケース間)
耐ノイズ性	1500Vp-p パルス幅1μsec
耐振動	19.6m/s² 10～150Hz X、Y、Z(JIS C0911 準拠)
使用周囲温度	0℃～50℃(但しACアダプタは、0℃～40℃)
使用周囲湿度	20%～85% (結露なきこと)
使用周囲雰囲気	腐食性ガスなきこと
保存周囲温度	－10℃～60℃
質量	本体 約730g 付属ACアダプタ 約130g
外形寸法	幅185×高42×奥116㎜ (突起部含まず)

7.2 性能仕様

Ethernet インタフェース

項目	仕様
LAN	10BASE－T、100BASE－TX

出力部インタフェース

項目	仕様
出力形式	リレー接点出力
出力点数	8点
定格負荷	最大：AC125V 3A、DC30V 3A 最小：DC5V 10mA (抵抗負荷)
使用可能電線	単線 AWG#16～#12 (φ1.3～2㎜) より線 AWG#22～#14 (0.33～2.08m㎡)
電線被覆剥きしろ	9～10㎜

入力部インタフェース

項目	仕様
入力形式	フォトカプラ入力 (内蔵12V使用) 短絡時電流：5mA
入力点数	8点
使用可能電線	単線 AWG#16～#12 (φ1.3～2㎜) より線 AWG#22～#14 (0.33～2.08m㎡)
電線被覆剥きしろ	9～10㎜

8 製品サポート

製品サポートについては、下記にて受け付けております。

技術相談口： フリーダイヤル **0120－497－090**　**FAX番号：06－6763－8989**
受付 9:00～17:00(日･祝日は留守番電話による対応)

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IP アドレスなどの本体諸設定は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。
また、修理後は MAC アドレスを変更して、ご返却させていただきます。